

2024 年度

早稲田大学大学院

教育学研究科 入学試験要項

博士後期課程

一般入学試験
専門職業人入学試験
国費外国人留学生入学試験
外国学生入学試験

※感染症拡大等の影響により、やむを得ず入学試験の実施内容（出願期間・試験日程・試験内容・合格発表日など）に変更が生じる場合があります。その際は、当研究科 WEB サイトにてお知らせしますので、随時確認するようにしてください。

なお、出願開始後に何らかの変更が生じた場合は、当該志願者に対して E メールで連絡することがありますので、出願後は随時メールも確認するようにしてください。

早稲田大学 大学院教育学研究科 入試係

[住 所] 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 16 号館 2 階
[電 話] 03-3208-0529
[F A X] 03-3202-2549
[Email] gse-admission@list.waseda.jp
[U R L] <https://www.waseda.jp/fedu/gedu/>

[事務所開室時間] 月曜日～金曜日 10:00～16:00

※但し次の期間は閉室します。

・夏季一斉休業期間および冬季一斉休業期間（2023/8/14～8/18、2023/12/29～2024/1/5）の全日

2024 年度 早稲田大学大学院教育学研究科入学試験要項

目 次

I. 入学試験日程	1
II. 受験要領	2
1. 出願資格	2
2. 募集専攻・人員	4
3. 出願期間・出願方法・出願書類提出先	4
4. 出願上の注意	4
5. 志願者情報 Web 登録	5
6. 入学検定料	6
7. 出願書類	8
8. 受験票の送付	13
9. 試験科目・試験方法	13
10. 試験日および合格者発表日	14
11. 試験会場	14
12. 合格者発表場所および時間	15
13. 受験上の注意事項等について	15
III. 入学手続	17
1. 手続書類の交付	17
2. 入学手続期間・方法	17
3. 入学手続に必要な書類	17
4. 入学手続に必要な入学金・学費・諸会費	18
5. 外国学生（外国籍）の方へ【在留資格「留学」の取得について】	19
6. 特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度	22
7. 提携金融機関による「早稲田大学学費ローン（入学時）」	23
IV. 募集研究指導一覧・研究指導の内容	24
1. 募集研究指導一覧	24
2. 研究指導の内容	26
V. 各コード一覧	33
1. 都道府県コード	33
2. 課程区分コード	33
3. 研究指導コード	34
4. 出身大学コード	36
「大学院博士後期課程研究者養成奨学金制度」	41

科目等履修生の募集について

一般履修生・委託履修生・科目等履修生外国学生（国内出願）の募集は 2024 年 2 月に行います。科目等履修生外国学生入試の国外出願の募集はありません。入試要項は 2023 年 10 月頃に公開予定です。

個人情報の取扱いについて

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれらに付随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。

これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・タブレット・PHS・スマートウォッチ等の通信機能を持った機器をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

I. 入 学 試 験 日 程

入試種別	一般入試 専門職業人入試 国費外国人留学生入試	外国学生入試	
		国内出願	国外出願
出願審査申請期限 【注 1】を参照	2023 年 10 月 30 日（月）（最終日消印有効）		
出願期間	2024 年 1 月 9 日（火）～1 月 12 日（金） （郵送または窓口：締切日消印有効）	郵送のみ： 2023 年 11 月 27 日（月） ～12 月 6 日（水） （最終日必着）	
一次試験（筆記） 筆記試験	2024 年 2 月 5 日（月） 集 合 時 間：10 時 15 分 試 験 開 始：10 時 30 分 試 験 会 場：早稲田キャンパス 1 6 号館等 ※試験会場・控室は、試験日当日、当研究科掲示板 （早稲田キャンパス 1 6 号館 2 階入口）で発表します。		
一次試験合格発表	—		
二次試験（口述） 口述試験	2024 年 2 月 5 日（月） 集 合 時 間：14 時 15 分 試 験 開 始：14 時 30 分 試 験 会 場：早稲田キャンパス 1 6 号館等 ※試験会場・控室は、試験日当日、当研究科掲示板 （早稲田キャンパス 1 6 号館 2 階入口）で発表します。		
合格者発表	2024 年 2 月 6 日（火） 10:00 教育学研究科ウェブサイトにも合格者受験番号表を掲載します。 https://www.waseda.jp/fedu/gedu/		
入学手続書類発送	2024 年 2 月 6 日（火）に発送	2024 年 2 月 6 日（火）に交付 （大隈ガーデンハウス 1 階）	
入学手続締切	2024 年 2 月 20 日（火）（消印有効）	2024 年 2 月 20 日（火） （最終日必着）	

【注1】出願審査申請期限とは、次の出願資格で出願を希望する方に行う「個別の入学資格審査」の申請期限のことです。

当研究科において、個別の入学資格審査により、修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の時点で 24 歳に達する者

従って、その他の出願資格（例：修士の学位を取得した（する見込みの）者等）で出願する方は、「入学資格審査」を受ける必要はありません。

Ⅱ. 受 験 要 領

1. 出願資格

入試 区分	出 願 資 格
一 般 入 試	次の①～⑤のいずれかに該当する者。 ① 修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を得た者、または 2024 年 3 月までに取得見込みの者 ② 外国において修士の学位またはこれに相当する学位を得た者、および当研究科入学までに修士の学位またはこれに相当する学位を取得見込みの者 ③ 文部科学大臣の指定した者 ④ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2024年3月までに取得見込みの者 ⑤ 当研究科において、個別の入学資格審査により、修士または修士（専門職）もしくは法務博士（専門職）の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の時点で 24 歳に達する者 注 1： 英語科教育学・英語科内容学を志願する場合、出願締切日から遡って 2 年以内に実施された ・ TOEFL iBT 「<u>80 点以上</u>」（MyBest® スコアも利用可）（TOEFL iBT Home Edition は原則不可） ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「<u>6.5 点以上</u>」（Computer-delivered IELTS も可） のいずれかのスコアを有している（*）こと。 *ただし、以下の A または B の場合は例外とする。 A. 当研究科修士課程英語教育専攻に在学し、2024 年 3 月までに修士学位取得見込みの場合。 B. 英語を媒介とするプログラム（EMI）で学士、あるいは修士の学位を取得している場合。 B の場合、EMI であることが記載されている Certificate か、そうでない場合は EMI であることの証明（手紙：推薦状ではない）を担当教員に書いてもらい、提出する。 注 2： <u>外国において修士の学位またはこれに相当する学位を得た（あるいは修了見込みの）外国学生は、外国学生入試での受験となります。</u> 注 3： 上記「⑤」に該当して出願しようとする者は、事前に出願資格の審査を行いますので当研究科へ問い合わせてください。（出願資格審査申請締切：2023 年 10 月 30 日(月)）
専 門 職 業 人 入 試	次の A、B の資格を共に有する者。 A. 「一般入試」または「外国学生入試」の出願資格を満たすこと。 B. 本課程入学時までに、下記いずれかの職（①・②・③の合算も可）において継続して 3 年以上の職務経験を有する者。 ①学校の専任の職 ②官公庁の専任の職 ③企業等の専任の職 *いずれも専任に準ずる職を含む 注 1： 英語科教育学・英語科内容学を志願する場合、出願締切日から遡って 2 年以内に実施された ・ TOEFL iBT 「<u>80 点以上</u>」（MyBest® スコアも利用可）（TOEFL iBT Home Edition は原則不可） ・ IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「<u>6.5 点以上</u>」（Computer-delivered IELTS も可） のいずれかのスコアを有している（*）こと。 *ただし、以下の A または B の場合は例外とする。 A. 当研究科修士課程英語教育専攻に在学し、2024 年 3 月までに修士学位取得見込みの場合。 B. 英語を媒介とするプログラム（EMI）で学士、あるいは修士の学位を取得している場合。 B の場合、EMI であることが記載されている Certificate か、そうでない場合は EMI であることの証明（手紙：推薦状ではない）を担当教員に書いてもらい、提出する。 注 2： 現職教員等の学生の履修方法の特例 1. 教育上特別に必要があると認められる場合には、特定の時間または時期において、適当な方法により授業または研究指導を行うことがある。 2. 上記の方法による履修を希望する学生は、入学志願の際にその旨を申し出なければならない。 連絡先：教育学研究科入試係（Email：gse-admission@list.waseda.jp） 注 3： 一般入試の出願資格「⑤」に該当して出願しようとする者は、事前に出願資格の審査を行いますので当研究科へ問い合わせてください。（出願資格審査申請締切：2023 年 10 月 30 日(月)）

国費外国人留学生入試	次のA、Bの資格を共に有する者。 A. ①すでに修士の学位を得ている者または2024年3月までに修士の学位取得見込みの者 ②外国において修士の学位またはこれに相当する学位を得た者 ③国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、または2024年3月までに取得見込みの者 B. 日本国政府文部科学省奨学金給付奨学生で、正規の課程の年限にわたって日本国政府文部科学省奨学金給付が見込まれる者
外国学生入試	以下の①、②のいずれかに該当する者 ① 外国において修士もしくは修士（専門職）の学位またはこれに相当する学位を得た者、または2024年3月までに取得見込みの者 ② 研究科において、個別の入学資格審査により、修士もしくは修士（専門職）の学位を有する者と同以上の学力があると認められた者で、入学までに24歳に達する者 ※外国籍の者であっても、日本の大学院を修了している者は「外国学生」には該当しません。 注1：英語科教育学、英語科内容学の志願者は、（要件1）を満たすこと。 注2：数学科教育学、数学科内容学の志願者は、（要件1）または（要件2）を満たすこと。 注3：それ以外の志願者は、（要件2）を満たすこと。 （要件1） 出願締切日から遡って2年以内に実施された ・TOEFL iBT 「<u>80点以上</u>」（MyBest® スコアも利用可）（TOEFL iBT Home Edition は原則不可） ・IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「<u>6.5点以上</u>」（Computer-delivered IELTS も可） のいずれかのスコアを有している（*）こと。 *ただし、英語を媒介とするプログラム（EMI）で学士、あるいは修士の学位を取得している場合は例外とする。 *EMIであることが記載されている Certificate か、そうでない場合は EMI であることの証明（手紙：推薦状ではない）を担当教員に書いてもらい、提出する。 （要件2） 日本語能力試験1級／N1または日本留学試験「日本語」260点以上のスコアを有していることが必要です（日本留学試験については、出願締切日から遡って2年以内に実施された試験のスコアに限ります）。 注4：外国学生入試の出願資格「②」に該当して出願しようとする者は、事前に出願資格の審査を行いますので当研究科へ問い合わせてください。 （出願資格審査申請締切：2023年10月30日(月)）

※ 志願者は、当該専門分野の専攻に関連する科目を履修していることが望ましい。

出願時に、本入試要項記載の出願資格を満たすために大学院入学資格取得見込の証明書を提出された方につきましては、入学手続き時に、その資格取得を証明する書類を提出してください。入学試験に合格されても、入学までにその資格取得の証明書を提出できない（大学院入学資格を満たすことができない）場合は、入学を認められませんので注意してください。

本学（学校法人早稲田大学が設置する早稲田大学その他の学校をいう。以下同じ。）の教員は、本学の学籍を有することができませんので注意してください。ただし、規約上認められている場合もありますので、不明点がある場合は所属箇所の事務所を通じて本部までお問い合わせください。

2. 募集専攻・人員

専 攻	募集人員
教育基礎学専攻	各研究指導 若干名
教科教育学専攻	各研究指導 若干名

3. 出願期間・出願方法・出願書類提出先

入試区分	提出先	出 願 期 間
一 般 入 試	教 育 学 研 究 科 事 務 所	○郵送による出願：2024 年 1 月 9 日(火)～1 月 12 日(金) (最終日消印有効) ○来校による出願：2024 年 1 月 9 日(火)～1 月 12 日(金) 受付時間(*)：午前 10 時～午後 4 時 *感染症対策に伴い、受付時間が変更になる場合があります。 来校の際は必ず研究科 HP にて事務所開室時間を確認の上、 お越しいただくようお願いします。
専門職業人入試		
国費外国人留学生入試		
外国学生入試 (国内出願)		
外国学生入試 (国外出願)		○郵送による出願：2023 年 11 月 27 日(月)～12 月 6 日(水) 出願はすべて EMS 等による郵送受付となり、 出願期間最終日必着とします。

4. 出願上の注意

(全入試区分共通の注意事項)

- ・郵送する際、所定の「志願票等送付用住所ラベル」に住所・氏名を記入し、封筒の宛名面に貼付のうえ送付してください。
※外国学生入試国外出願の方はこれに該当しません。次の（外国学生入試対象者の注意事項）を参照してください。
- ・お住まいの地域や国によっては配達に時間を要するところがありますので、時間に余裕を持って送付するようにしてください。
- ・出願締切日を過ぎた書類は一切受け付けません。
- ・出願書類の到着の有無に関する問い合わせにはお答えできません。書類到着の確認は、郵便局の追跡サービス（国外出願の場合は EMS 等の追跡サービス等）を利用の上、確認を行ってください。
- ・出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認の上、出願をしてください。また本学から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
- ・出願後に志願票に書かれた住所・電話番号・E メールアドレス等を変更した場合は、速やかに当研究科事務所に連絡をしてください。志願票に書かれた情報を変更したことが原因で本学からの連絡が届かなかったとしても、本学は一切の責任を負いません。
- ・出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ・身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当研究科事務所にお問い合わせください。また、大きな病気やけがのため、受験および就学に支障をきたす恐れがある方についても、それが万一出願後に起こった場合でも、速やかにお問い合わせください。

(外国学生入試対象者の注意事項)

- 外国学生の出願手続は、志願者の居住地によって「国内出願」と「国外出願」に区分が分かります。以下の定義により自身の出願区分を確認してください。

「国内出願」「国外出願」はそれぞれ出願期間・出願方法等が異なりますので、十分にご注意ください。

	国内出願	国外出願
対 象	出願時に日本国内に居住する者	出願時に日本国外に居住する者
資格確認	志願票に記載された「現住所」から判断します	

- 国内出願の方は、必ず所定の「志願票等送付用住所ラベル」を使用して送付してください。国外出願の方は、「志願票等送付用住所ラベル」の住所を国際宅配業者（EMS 等）のラベルに転記のうえ、送付してください。
- 国内出願者で、出願時に入学時以降まで有効な在留資格を有していても、個々の事情により、入学後の在留資格の更新・変更が許可されない場合があります（現在保持している在留資格の根拠となる活動を、正当な理由なく継続して3ヶ月以上行っていない場合など）。入学後の在留資格更新・変更の取得については、本学は一切保証できません。必ず出入国在留管理局に確認し、各自の責任において出願してください。
- 一度提出した書類・資料の返還は原則として行いません。ただし、再発行が不可能な書類に限り書類の返還を行います。希望する場合は必ず「提出書類返還依頼書」を記入し、出願書類と一緒に送付してください。「提出書類返還依頼書」が出願書類と一緒に送付されていない場合は、書類の返還は一切行いません。

5. 志願者情報 Web 登録

(1) 入力

志願者は必ず Web 上にて志願者情報の登録を行ってください。登録用のフォームは出願期間中、当研究科 Web サイトの本入学試験要項掲載ページにリンクを掲載します。

<https://www.waseda.jp/fedu/gedu/applicants/admission/>（教育学研究科＞受験生の方へ＞入学試験情報）

(2) 入力上の注意

- 原則として、志願者本人が入力してください。
- すべて入力後、最下段の「保存」を押してください。その後「申請確認：申請を保存してよろしいですか？」という画面が出ますので、「はい」を押すと登録確定となります（その後「保存しました」と表示されます）。
- フォームに入力した情報に誤りがあった場合などは、再度登録し直してください。
- 登録が完了すると、「【MyWaseda】申請通知：教育学研究科博士後期課程入学試験志願者情報登録」という件名のメールが入力したアドレス宛に自動送信されます。このメールを印刷し、出願書類として同封してください。
- 受信拒否を回避するため、携帯電話のキャリアメール以外（「Gmail」、「Yahoo!メール」等）を利用されることを推奨します。
- フォームでの登録後、自動送信メールが受信できない場合、以下の可能性が考えられます。
 - ①迷惑メールとして分類されている
 - ②入力したメールアドレスに誤りがある迷惑メールから見つからない場合は、誤った入力が行われた可能性がありますので、最初からフォームの再入力を行ってください。提出書類と突合して、正規の登録内容を判断します。
- 登録されたメールアドレス宛に試験実施に関するご連絡等を行うことがありますので、出願から試験当日までの間、定期的に受信メールを確認できるようにしておいてください。

6. 入学検定料（入試区分によって、支払期間および支払方法が異なります）

入学検定料免除者について

- 以下のいずれかに該当する場合は、入学検定料は不要となります。
 - ・当研究科の修士課程または専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）を修了と**同時に**当研究科博士後期課程入学を志願する場合。
 - ・当研究科の修士課程等を修了された方が、引続き次年度に当研究科の一般科目等履修生となり、その後引続き当研究科の博士後期課程に入学を志願する場合。ただし、修士課程等入学後4年以内に入学を志願する場合に限る。
- 当研究科に入学後に国費外国人留学生となる可能性のある方は、入学検定料が免除になる場合があります。該当する方は出願前に当研究科事務所までご相談ください。

入学検定料の支払方法について

＜日本国内からの入学検定料支払方法＞

入試区分	入学検定料支払い期間	入 学 検 定 料
一 般 入 試	2023 年 12 月 18 日(月)～ 2024 年 1 月 12 日(金)	30,000 円
専門職業人入試		
国費外国人留学生入試		
外国学生入試（国内出願）		

- ① 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ② コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にPC・携帯電話等よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/>）にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。
- ③ 支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、『志願票No.2（様式－②）』の所定欄に貼り付けて提出してください。詳細は「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」を確認してください。
- ④ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。ただし、納入期間最終日の「Webサイトでの申込」は23：00まで、コンビニエンスストア店頭での支払手続は23：30までとなりますので注意してください。

※家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず出願者本人の情報を入力するようにしてください。

※コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に当研究科まで連絡してください。

＜日本国外からの入学検定料支払方法＞

入試区分	入学検定料支払期間	入 学 検 定 料
外国学生入試（国外出願）	2023 年 11 月 6 日(月) ～11 月 29 日(水)	30,000 円

次ページの要領に従い、金融機関より海外送金してください。その際、銀行所定の海外送金申請書のコピーを出願書類に同封してください。

<海外送金要領>

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
振込銀行手数料	依頼人負担 (Payer's Responsibility)
円為替手数料	受取人負担 (Payee's Account)
送金額	入学検定料に円為替手数料を加えた金額 32,500 円 (入学検定料 30,000 円 + 円為替手数料 2,500 円) ※現地金融機関において別途手数料が必要となる場合、この金額とは別に窓口で手続時にお支払いください。
送金目的	入学検定料 (Screening Fee)
送金先銀行名	三菱 UFJ 銀行 (MUFG Bank, Ltd.)
支店名	江戸川橋支店 (Edogawabashi Branch)
口座番号	0035967FHR ※口座番号欄には数字 7 文字とアルファベット 3 文字を記入してください。
受取人	早稲田大学 (Waseda University)
銀行住所	〒112-0014 東京都文京区関口 1-48-13 (1-48-13, Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 1120014, Japan)
スウィフトコード	BOTKJPJT
備考	必要連絡事項 (Message to Payee, if any) には受験者本人の氏名 (Applicant's name) の前に "37GSE" を必ず記入してください。

■出願書類および入学検定料の返還について

一度受理した書類およびお支払いいただいた入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は 2024 年 1 月 31 日までに早稲田大学教育学研究科 (gse-admission@list.waseda.jp) までご連絡ください。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に書類を提出した。
- 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、日本国外の金融機関口座へ入学検定料を返還する場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

■被災地の志願者に対する減免制度

本学では、被災地 (災害救助法適用地域) の志願者に対して、受験・入学の機会をできるかぎり保障するため、被災の状況により、入学検定料や登録料 (入学金相当額)、学費・諸会費の減免制度を用意しております。

2023 年 4 月 1 日 (入学予定日の 1 年前) 以降に災害救助法が適用された地区町村において被災された方で、減免を希望される方は、下記の入学センター WEB サイトをご覧のうえ申請してください。

【URL】 <https://www.waseda.jp/inst/admission/others/exemption/>

7. 出願書類

【注】提出された修士論文・資料等は原則として返却しませんので、必ずコピーを提出してください。

出願書類 記入上の注意

- (1) ペンまたはボールペン（黒）で記入してください。（鉛筆・フリクションペン等は不可）
 (2) 誤って記入した場合は、二本線で消し、訂正印を押印したうえで再度記入(できるだけ枠内)すること。修正液は使用しないでください。

※Word 文書（Docx ファイル）として提供されている書類については、所定様式に直接データ入力したものを印刷し、提出することも可とします。

ただし、様式の枠線配置などは一切変更しないでください。（「A4」片面1枚で作成してください。）

（凡例：「○」→ 必須提出 「△」→ 該当者のみ提出 「×」→ 提出不要）

様式名	提出書類	一般	専門 職業人	国費 外国人 留学生	外国 学生
博士後期 課程 様式-①	入学試験 志願票 No.1 ・性別欄では男・女のいずれかを選択してください。本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍上の性別情報を収集しています。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。 https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/ ・年号は西暦で記入してください。	○	○	○	○
博士後期 課程 様式-②	入学試験 志願票 No.2 ・所定欄に氏名等を記入の上、様式-②に記載の注意事項に沿って、「入学検定料収納証明書」「写真」を糊付けしてください。 ・「写真」は入学手続時、同じ写真をデータで Web システム上にアップロードすることとなります。データ版もあわせて取得し、大切に保管しておいてください。	○	○	○	○
博士後期 課程 様式-③	博士論文の研究計画書 ・「博士後期課程 様式-③」の表紙をつけて提出してください ・ワープロ使用の場合 A4 判横書（40×40） 3 枚以内 ・原稿用紙使用の場合 A4 判横書（400 字詰） 12 枚以内 ・欧文の場合 A4 判（ダブルスペース） 6 枚以内	○	○	○	○
博士後期 課程 様式-④	業績書 ・「修士論文」欄には研究計画の前提として、主となる修士論文（または相当する業績）について記載してください。 ・「業績」欄には研究計画に関連する各業績について記入し、それを証明する資料（コピー可）を各 3 部ずつ提出してください。	○	○	○	○
博士後期 課程 様式-⑤	修士論文概要書 ※原則として日本語または英語とする ・「博士後期課程 様式-⑤」の表紙をつけて提出してください ・ワープロ使用の場合 A4 判横書（40×40） 1 枚以内 ・原稿用紙使用の場合 A4 判横書（400 字詰） 4 枚以内 ・欧文の場合 A4 判（ダブルスペース） 2 枚以内 ※いずれも参考文献や注を含んだ枚数です 【当研究科以外での修士論文を主として提出する人は、修士論文概要書の提出が必要です。ただし、修士論文を提出せずに学位を取得して出願した方は、修士論文に相当する業績についての概要書を提出してください】 【様式-④「業績書」修士論文欄に、当研究科に提出した論文を記載した方は提出不要です】	△	△	△	△

様式名	提出書類	一般	専門 職業人	国費 外国人 留学生	外国 学生
コピー	修士論文 3部 ※原則として日本語または英語とする 【当研究科以外の研究科での修士学位により出願する人は、修士論文の提出が必要です。ただし、修士論文を提出せずに学位を取得して出願した方は、修士論文に相当する業績を提出してください】 【博士後期課程 様式-④「業績書」修士論文欄に当研究科に提出した論文を記載した方は提出不要です】	△	△	△	△
原本	修士課程の修了(見込)証明書またはこれに相当する証明書 【当研究科修士課程修了者および修了見込者は提出不要】 ・「修了(見込)」と「成績」が同一用紙で証明されている証明書でも結構です。 ・必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。 ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書(原本)とあわせて提出してください。 ・修了見込の場合は、修了見込証明書を提出し、合格後、入学手続を行う際に修了証明書を必ず提出してください。入学手続までに卒業(修了)証明書を提出できない場合は、入学を認められませんので注意してください。 ・中国の大学を卒業された方は、中国政府学歴認証センター(または中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構)が発行する「学歴認証報告書(英語版)」による提出も認めます。CSSD から教育学研究科事務所(gse-admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。CSSD から当研究科に直接メールで届く「Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」のみ有効とします。必ず出願期間締切日までに届くよう、余裕を持って準備してください。 ・中国の大学の卒業証明書には卒業番号の記載が必要です。証明書に番号の記載がない場合は、別途卒業証書など(番号がわかる書類)のコピーを添えてください。	△	△	△	○
原本	学位取得証明書(見込証明書) ・中国の大学を卒業し、学位を取得した学生は学位取得証明書と修了証明書の両方を提出してください(中国の大学を卒業して学位が取得できなかった場合でも、通常の課程による16年の学校教育を修了していれば出願資格があります)。 ・学位取得証明書については、CSSDが発行する「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate(英語版)」による提出も認めます。CSSD から教育学研究科事務所(gse-admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。CSSD から当研究科に直接メールで届く「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate(英語版)」のみ有効とします。 ・学位取得証明書には学位番号の記載が必要です。記載がない場合は学位取得証明書とは別に、学位証書など(番号がわかるもの)のコピーを添えてください。	△	△	△	△
原本	修士課程の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」 ・中国の教育機関を卒業・修了された方は、CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する、英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」をCSSD から教育学研究科事務所(gse-admission@list.waseda.jp)へメールで直送されるよう手配してください。 ・詳細についてはCSSDのWebサイトをご確認ください。 https://www.chsi.com.cn/en/pvr/ ・必ず出願期間締切日までに当研究科へ「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」が届くよう、余裕を持って準備してください。 ・CSSD から当研究科に直接メールで届く「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」のみ有効とします。	×	×	△	△

様式名	提出書類	一般	専門 職業人	国費 外国人 留学生	外国 学生
原本	修士課程の成績証明書、またはこれに相当する証明書 【当研究科修士課程修了者および修了見込者は提出不要】 ・修士課程に在学中の場合は前学年までの成績証明書 ・「修了（見込）」と「成績」が同一用紙で証明されている証明書でも結構です。 ・必ず証明書の原本を提出してください(コピーは不可)。 ・証明書は日本語または英語で書かれたものを提出してください。日本語または英語で発行できない場合は、翻訳文を作成し、翻訳文の内容が正しいことを証明する公証書（原本）とあわせて提出してください。 ・（中国の大学出身者のみ）中国の大学を卒業された方は、中国政府学歴認証センター（または中国政府指定学歴・学籍認証センター日本代理機構）が発行する「成績認証報告書（英語版）」による提出も認めます。CSSD から教育学研究科事務所（gse-admission@list.waseda.jp）へメールで直送されるよう手配してください。必ず出願期間締切日までに本学へ「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」が届くよう、余裕を持って準備してください。CSSD から当研究科に直接メールで届く「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」のみ有効とします。	△	△	△	○
博士後期 課程 様式-⑥	履歴書	×	○	×	×
博士後期 課程 様式-⑦	職歴調書	×	○	×	×
原本	在職証明書または在職期間証明書 （資格と在職期間が明記されたもの） ・在職期間が3年に満たない場合、他の勤務先の証明書類も提出してください。（連続していることが必要）	×	○	×	×

様式名	提出書類	一般	専門 職業人	国費 外国人 留学生	外国 学生
原本	英語能力証明書 <試験実施団体から大学に直送> Official Score Report (TOEFL) または Test Report Form (IELTS) 【英語科教育学・内容学志願者は原則全員提出。 数学科教育学・内容学志願者の外国学生入試の志願者のうち、 該当する者のみ提出】 出願締切日から遡って2年以内に実施された ・TOEFL iBT 「80点以上」(MyBest® スコアも利用可) (TOEFL iBT Home Edition は原則不可) ・IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic 「6.5点以上」(Computer-delivered IELTS も可) のいずれかのスコアを有していること(*)が必要です。 *ただし、以下のAまたはBの場合は例外とする。 A. 当研究科修士課程英語教育専攻に在学し、2024年3月までに修士学位 取得見込の場合。 B. 英語を媒介とするプログラム(EMI)で学士、あるいは修士の学位を取 得している場合。 上記各スコア票が試験実施機関から出願締切日までに当研究科事務所へ直接 送付されるように、志願者自身が早めに依頼すること。 ※依頼から送付先への到着までに、Official Score Report (TOEFL)では4~6 週間程度、Test Report Form (IELTS)では2~3週間程度要するとされてい ます。直送の証明書が到着しない場合、出願書類不備となります。 ※Test Report Form (IELTS)の依頼時は、必ず簡易書留等の追跡できる形で 送ってもらうよう、試験実施機関に依頼してください ○TOEFL 実施機関ウェブサイト https://www.ets.org/ Official Score Report (TOEFL)の送付に必要なコード Institution Code : C394 ※早稲田大学でも複数の送付先コードがあります。必ず、上記コードを入力してく ださい。 ○IELTS 実施機関ウェブサイト https://www.ielts.org/ Test Report Form (IELTS) 送付先は以下を記入してください 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学大学院教育学研究科事務所 入試係宛	△	△	×	△
コピー	英語能力スコア報告書 ・TOEFL のスコア報告 または ・IELTS Academic または IELTS for UKVI Academic のスコア報告 【英語科教育学・内容学志願者は原則全員提出。 数学科教育学・内容学志願者の外国学生入試の志願者のうち、 該当する者のみ提出】 暫定的にスコアを明示する書類として、前項の「英語能力証明書」に加えて、 手許にあるスコア報告のコピーまたはネット上のスコア確認画面を印字したも ののどちらかを提出してください。 あくまでも暫定的な書類であり、スコア証明としては実施機関から大学への 直送による証明書が必要となります。	△	△	×	△
原本	国費留学生証明書 ・国費の期間が明記してあるもの。2024年3月で期間が終了する場 合は、延長申請書のコピーも提出してください。 【早稲田大学の国費留学生は提出不要】	×	×	△	×
原本	改姓を証明できる公的証明書(戸籍抄本等) 【改姓により志願票と各証明書の氏名が異なっている場合のみ】	△	△	△	△

様式名	提出書類	一般	専門 職業人	国費 外国人 留学生	外国 学生
原本の コピー	日本語能力証明書 以下の A または B のいずれかの方法で提出すること。 A 日本語能力試験 1 級／N1 の「合否結果通知書」(「日本語能力認定書」は不可) のコピー 1 部。 (試験実施年度は問いません) B 日本留学試験「日本語」260 点以上の「成績確認書」(EJU オンラインから印刷)、および受験票のコピー 各 1 部。 (出願締切日から遡って 2 年以内に実施された試験のスコアに限ります) ただし、教科教育学専攻のうち、 ・英語科教育学・英語科内容学の志願者 ・数学科教育学・数学科内容学の志願者で、「英語能力証明書」を提出する者 はこれらの証明書を提出する必要はありません。	×	×	×	△
博士後期 課程 様式-⑧	提出書類返還依頼書 ・返還を希望する文書がある場合は、必ず提出してください。	×	×	×	△
博士後期 課程 様式-⑨	推薦状 【教育基礎学専攻のみ提出。教科教育学専攻は不要】 ・所定様式のことを推奨しますが、所定様式以外の推薦状でも出願は可能です。推薦状は、2022 年 4 月以降に発行されたもののみ有効になります。推薦状は 必ず厳封 されたものを提出してください。 厳封が無いものは原則無効といたします 。また推薦状は日本語または英語で作成してください。それ以外の言語で作成する場合は日本語または英語訳を作成し、推薦状の原本と一緒に提出してください。特に公証は必要ありません。	×	×	×	△
博士後期 課程 様式-⑩	留学にかかる経費負担計画書 ・所定の用紙に、本学に留学する間の総費用(修士課程は 2 年分、博士後期課程は 3 年分の学費及び生活費)をどのように負担するのかについて、日本語または英語で記入してください。 ※志願者本人の署名を忘れないようにしてください。 ・経費負担計画書の「政府またはその他財団 (Government/sponsoring agency)」の欄に記入された方は、給付金額および給付期間を明示した奨学金の給付に関する証明書を提出してください。	×	×	×	○
原本の コピー	「在留カード」のコピー(表・裏両面)および「身分証明書(パスポート)」のコピー ・「在留カード」は、表・裏両面のコピーを提出してください。これに加えて、「身分証明書(パスポート)」の写真が掲載されたページのコピーも提出してください(有効期限に注意をしてください)。在留資格を有していない場合は、写真掲載ページのみ提出してください。	×	×	×	○
原本の コピー	検定料海外送金申請書のコピー ・国外出願者で、海外から検定料を振り込んだ場合	×	×	×	△
原本	翻訳公証書	×	×	×	△

※出願の際に本学に提出した書類・資料、提出した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

8. 受験票の送付

- ① 出願受付後、志願票 No.1 に記載された住所宛に受験票を送付します。
国外出願者については、出願後に受取方法を連絡します。
- ② 試験日間近になっても受験票が届かない場合は、当研究科までお問い合わせください。
- ③ 受験票は、入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

9. 試験科目・試験方法

★ 一般入試、外国学生入試

専攻	試験会場：早稲田キャンパス 16号館等			
	志望する 研究指導	出身研究科	筆記試験	口述試験
			2月5日(月) 10:30～12:00 (集合 10:15)	2月5日(月) 14:30～ (集合 14:15)
教育基礎学 専攻	全研究指導		資料解説	主として専門研究領域に関わる 分野についてのこれまでの研究課題 および研究計画について口述試験※ を行います。 ※教科教育学専攻英語科教育学・英 語科内容学については、状況により 英語での口述試験もありうる。
教科教育学 専攻	国語科教育学 国語科内容学		資料解説	
	英語科教育学 英語科内容学		専門英語	
	社会科教育学 社会科内容学	当研究科修士課程 出身者	_____	
		当研究科修士課程 以外の出身者	資料解説	
	数学科教育学 数学科内容学	当研究科修士課程 出身者	_____	
		当研究科修士課程 以外の出身者	資料解説	

【注1】修士論文、またはそれに相当する業績の内容を合否判定の一つの評価の基準とします。

【注2】「当研究科修士課程出身者」には、今年度3月までに「取得見込み」の方も含みます。ただし、複数の修士等の学位を取得された方で、出願書類様式-④「業績書」に当研究科以外での修士論文を記載された場合は、「当研究科修士課程以外の出身者」となります。

筆記試験における辞書・辞典・資料等の使用について

【注】電子辞書の使用は認めません。

志望する研究指導		使用を許可する辞書・辞典等
教育基礎学専攻の全研究指導		英和辞書1冊に加え、研究指導(坂倉裕治)を希望する受験者については仏和辞書1冊の使用を認めます。
教科教育学 専攻	国語科教育学 国語科内容学	辞書・辞典・資料等の使用を一切認めません。
	英語科教育学 英語科内容学	辞書等の使用を一切認めません。
	社会科教育学 社会科内容学	辞書・辞典・資料等の使用を原則認めません。 【ただし、日本史領域の受験者については、「くずし字辞典・古文書解説辞典」などの中から1冊、辞典等の使用を認めます。また、研究指導(石濱裕美子)を希望する受験者については、『蔵漢大辞典』などのチベット語辞書から一種類の使用を認めます。】
	数学科教育学 数学科内容学	英和辞書1冊のみ使用を認めます。

★ 専門職業人入試

専攻	試験会場：早稲田キャンパス 16号館 教育学部校舎		
	志望する 研究指導	筆記試験	口述試験
		2月5日（月） 10:30～12:00(集合 10：15)	2月5日（月） 14:30～(集合 14：15)
教育基礎学専攻	全研究指導	小論文（資料解説を含む）	主として専門研究領域に関わる分野についてのこれまでの研究課題および研究計画について口述試験を行います。
教科教育学専攻	国語科教育学 国語科内容学		
	英語科教育学 英語科内容学	専門英語	
	社会科教育学 社会科内容学	小論文（資料解説を含む）	※教科教育学専攻英語科教育学・英語科内容学については、状況により英語での口述試験もありうる。
	数学科教育学 数学科内容学		

【注】 辞書・辞典・資料類の持ち込みは全て不可とします。

★ 国費外国人留学生入試

専攻	試験会場：早稲田キャンパス 16号館 教育学部校舎	
	筆記試験	口述試験
	2月5日(月) 10:30～12:00(集合 10:15)	2月5日(月) 14:30～(集合 14:15)
教育基礎学専攻	志望する研究指導担当教員の指定する言語による小論文(注1)	主として専門研究領域に関わる分野についてのこれまでの研究課題、および研究計画について口述試験を行います。 ※教科教育学専攻英語科教育学・英語科内容学については、状況により英語での口述試験もありうる。
教科教育学専攻		

【注1】 研究指導担当教員の指定する言語については、出願受付後、当研究科事務所からお知らせします。

【注2】 辞書・辞典・資料類の持ち込みは全て不可とします。

10. 試験日および合格者発表日

入試区分	筆記・口述試験日	合格者発表日
一般入試	2024年 2月5日(月)	2024年 2月6日(火)
専門職業人入試		
国費外国人留学生入試		
外国学生入試		

11. 試験会場

入試区分	試験会場
一般入試	早稲田キャンパス 16号館等(予定) 試験教室(筆記・口述試験ともに)は、試験当日に16号館2階入口に掲示します。
専門職業人入試	
国費外国人留学生入試	
外国学生入試	

1 2. 合格者発表場所および時間

入試区分	発表場所・時間
一 般 入 試	- 合格者発表日の 10:00 に教育学研究科ウェブサイト[※]に合格者受験番号を掲載します。 https://www.waseda.jp/fedu/gedu/ - 最終合格者には合格証明書および入学手続きに係る書類を郵送します。なお、不合格者には書類は何も送付されません。<u>外国学生入試（国外出願）の方は大隈ガーデンハウス 1 階大隈ガーデンホール内の臨時事務所[※]にて交付します。</u> - 可否の問い合わせには応じません。
専門職業人入試	
国費外国人留学生入試	
外国学生入試	

※臨時事務所の場所に変更になる場合があります。必ず教育学研究科ウェブサイト[※]で確認して下さい。

1 3. 受験上の注意事項等について

（1）受験上の注意

- ① 受験生は各科目の試験開始 15 分前には試験場に入場してください。
- ② 試験場には受験票・筆記具を持参し、受験票は机の上に置いてください。
- ③ 筆記具は黒（HB）の鉛筆またはシャープペンシルとします。
- ④ 第 1 次試験日の第 1 時限目試験開始後 20 分を経過してからの入場は一切認めません。
- ⑤ 第 2 次試験日の試験開始後 20 分を経過してからの入場は一切認めません。
- ⑥ 試験教室に時計は設置していませんので、必ず各自で持参してください。
- ⑦ 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合、他の受験生や監督員等への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ⑧ ⑦に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ⑨ ⑦⑧により欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。
- ⑩ 受験に際しては 1 週間程度前から検温を行うなど、体調管理を徹底してください。
- ⑪ 入学試験会場での新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等への感染を防ぐため、必要に応じて各自の判断でマスクを用意、着用してください。なお、写真照合の際など、一時的にマスクを外すことを求めることがあります。
- ⑫ 来場後、体調が優れない場合や異変を感じる場合は、早めに申し出てください。
- ⑬ 試験当日は救護所に医師が待機しています。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員にすみやかに申し出てください。また、体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所での診察を促す場合もあります。ただし、移動や診察等に時間がかかった場合でも試験時間の延長は認めません。
- ⑭ 追加の情報がある場合は、研究科 Web サイト（<https://www.waseda.jp/fedu/gedu/>）にてお知らせします。

試験時間中に使用を認めない物品の一例を以下に示します。

物品	備考
携帯電話、PHS、スマートフォン、タブレット、腕時計型端末等の通信機能のある機器	時計としての使用も認めません。必ず電源を切って、かばんにしまってください。
電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・IC レコーダー等の電子機器	必ず電源を切って、かばんにしまってください。
耳栓	試験監督員の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます
鉛筆・シャープペンシル以外の筆記用具（ボールペン、蛍光ペン、赤ペン等）、筆箱、辞書	
帽子等	フードの着用も認めません。

(2) 不正行為について

早稲田大学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。

早稲田大学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。
2. 次のことをすると不正行為となることがあります。
 - ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ、使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体、物品、机などにメモをする、メモを見るなど）。
 - ② 筆記試験において、試験中に使用を認められていない物品を使用すること（机上に置くこと、身に着けることを含む）。
 - ③ 筆記試験において、「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白などに書き込みを行うなど）。
 - ④ 筆記試験において、「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
 - ⑤ 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
 - ⑥ 試験時間中に携帯電話等を身に付けること、使用すること。
 - ⑦ 試験時間中に携帯電話等や時計の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすこと。
 - ⑧ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑨ 試験場において試験監督員等の指示に従わないこと。
 - ⑩ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ⑪ 解答用紙を持ち帰ること。
 - ⑫ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・試験監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・別室または別席での受験を求めること。
 - ・本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすること。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとする。
4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
 - ・当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
 - ・当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき退学を含む懲戒処分の対象となることがあります。

(3) 受験環境について

- ◆ 可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。
 - ① 生活騒音（航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
 - ② 試験中に携帯電話や時計等の音・振動などが発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験場外に持ち出し、鳴動を停止させ、試験本部で保管することがあります。
 - ③ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
 - ④ 他の受験者が迷惑とを感じる行為がある場合、別室受験を求めることがあります。
- ◆ 不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

Ⅲ. 入 学 手 続

1. 手続書類の交付

入試区分	書類交付方法
一 般 入 試	2024 年 2 月 6 日（火）に志願票 No.1 に記載された現住所宛に発送します。
専門職業人入試	
国費外国人留学生入試	
外国学生入試（国内出願）	
外国学生入試（国外出願）	2024 年 2 月 6 日（火）午前 10 時から大隈ガーデンハウス 1 階大隈ガーデンホール内 臨時事務所にて交付します。

2. 入学手続期間・方法

所定の入学金、学費・諸会費を振り込んだうえで、以下締切日までに入学手続書類を郵送してください。
詳細は入学手続書類交付時にお知らせします。

入試区分	入学手続締切日
一 般 入 試	<u>2024 年 2 月 20 日（火）【最終日消印有効】</u>
専門職業人入試	
国費外国人留学生入試	
外国学生入試（国内出願）	
外国学生入試（国外出願）	<u>2024 年 2 月 28 日（水）【最終日必着】</u>

3. 入学手続に必要な書類【ご参考】

- ① 入学手続用紙・入学誓約書（本学所定用紙）
- ② 「住民票の写し」
- ③ 出身課程の修了証明書および成績証明書（出願の際、既卒の証明書・修了年度までの成績証明書を提出している場合は再度提出する必要はありません。）
- ④ 学費等振込領収証のコピー
- ⑤ 在留資格認定証明書申請書類（外国籍の方のうち、国外出願者のみ） 下記（※）も参照のこと

その他必要とする書類は入学手続書類交付時にお知らせします。

（※）在留資格認定証明書申請について

本学へ入学を許可された外国籍学生は、在留資格「留学」を取得することができます。日本に入学するため、在留資格を申請するには、まず日本国内の法務省出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」を申請する必要があります。早稲田大学では入学手続を完了した国外出願の外国籍学生に限り、本人に代わって出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」の代理申請を行います。代理申請後、「在留資格認定証明書」が出入国在留管理局より早稲田大学に交付されましたら、早稲田大学から申請者に郵送いたします。

「在留資格認定証明書」を受け取った後は、パスポートとともに日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。「在留資格認定証明書」の交付には 1～2 ヶ月の時間を要しますので、入学手続時に、必要書類を教育学研究科まで送付してください。必要書類は合格者に送付する「入学手続の手引き」をご参照ください。

4. 入学手続に必要な入学金・学費・諸会費【ご参考】

2024 年度 入学金・学費・諸会費

(単位：円)

専 攻	納入期	入学金	学 費		諸会費		合 計	年度 納入額
			授業料	演習料	学生健康増進互助会費	教育会費		
教育基礎学専攻 教科教育学専攻 (数学科内容学を除く)	入学時 (春学期)	200,000	224,000	1,500	1,500	250	427,250	654,500
	秋学期	—	224,000	1,500	1,500	250	227,250	
教科教育学専攻 (数学科内容学)	入学時 (春学期)	200,000	353,500	1,500	1,500	250	556,750	913,500
	秋学期	—	353,500	1,500	1,500	250	356,750	

(注意) 1. 本学の学部、大学院、専攻科の卒業、修了または退学者が再度本学に入学する場合、入学金が免除されます。詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

2. 第2年度、第3年度の授業料・演習料・学生健康増進互助会費・教育会費は次のとおりです。

専 攻	学年	学期	学 費		諸会費		合 計	年度 納入額
			授業料	演習料	学生健康増進互助会費	教育会費		
教育基礎学専攻 教科教育学専攻 (数学科内容学を除く)	第2年度	春学期	324,000	1,500	1,500	250	327,250	654,500
		秋学期	324,000	1,500	1,500	250	327,250	
	第3年度	春学期	324,000	1,500	1,500	250	327,250	654,500
		秋学期	324,000	1,500	1,500	250	327,250	
教科教育学専攻 (数学科内容学)	第2年度	春学期	453,500	1,500	1,500	250	456,750	913,500
		秋学期	453,500	1,500	1,500	250	456,750	
	第3年度	春学期	453,500	1,500	1,500	250	456,750	913,500
		秋学期	453,500	1,500	1,500	250	456,750	

3. 実験実習を伴う研究指導・演習を受講する場合は、実験実習料を別途納めなければなりません。(予定)

初等教育学研究演習 (河村)	15,000 円	特別支援教育学研究演習	15,000 円
臨床心理学研究演習	15,000 円	教育評価・測定研究演習	15,000 円
障害・神経心理学研究演習	15,000 円	学校心理学研究演習	15,000 円
発達・教育心理学研究演習	15,000 円		
社会科教育学研究指導 (池)	10,000 円	社会科内容学研究指導 (久保、箸本、山内)	10,000 円

4. 演習料、実験実習料、諸会費は改定されることがあります。

一度提出した書類および納入した入学金、学費・諸会費 (春学期分) は、原則として返還しません。

ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費 (春学期分) のみ返還の対象となります。また、複数の研究科から入学を許可された場合、本人からの申し出により、既に納入した入学金、学費・諸会費 (春学期分) を入学希望研究科に振り替えることができます (入学手続期間が全く重ならない研究科間に限られます)。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

5. 外国学生（外国籍）の方へ

*新型コロナウイルスの影響で手続き方法が変更になる可能性があります。その場合はWebサイトや大学からのメールでご案内します。【Webサイト：<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/index.html>】

在留資格「留学」の取得について

早稲田大学への入学を許可された外国学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「留学」の在留資格を有する学生は、外国人留学生授業料減免や留学生対象奨学金を申請することができます。**「留学」以外の在留資格でも入学することはできますが、上述のような留学生対象の各種補助制度を利用できませんのでご了承ください。**

「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできませんので注意してください。以下の（１）～（６）をよく読んで、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書代理申請など必要な在留手続を行ってください。**在留手続を行うには入学手続の「振込」を完了している必要があります。**手続に「入学許可書」が必要な場合は、「振込」を完了した後、教育学研究科事務所に発行を依頼してください。

（１）「留学」の在留資格を有している場合

現時点ですでに「留学」の在留資格を有している場合は、必要に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。在留期間の更新は在留期間満了日の３か月前から手続きできます。手続に関する詳細は、上記のWebサイト内、「入学前の方へ」を参照してください。

（２）「短期滞在」の在留資格を有している場合

現時点で「短期滞在」の在留資格を有している場合は、原則として一度国外へ出て「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格の申請方法については、「（４）在留資格を有していない場合」を参照してください。

（３）「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」などの在留資格を有している場合は、特に手続きの必要はありません。ただし、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。手続に関する詳細は、上記のウェブサイト内、「入学前の方へ」を参照してください。

【注】在留期間更新許可申請および在留資格変更許可申請には、早稲田大学が発行する書類が必要です。出入国在留管理局に申請する前に、申請書、入学許可書およびその他申請に必要な書類を大学に提出する必要がありますので注意してください。

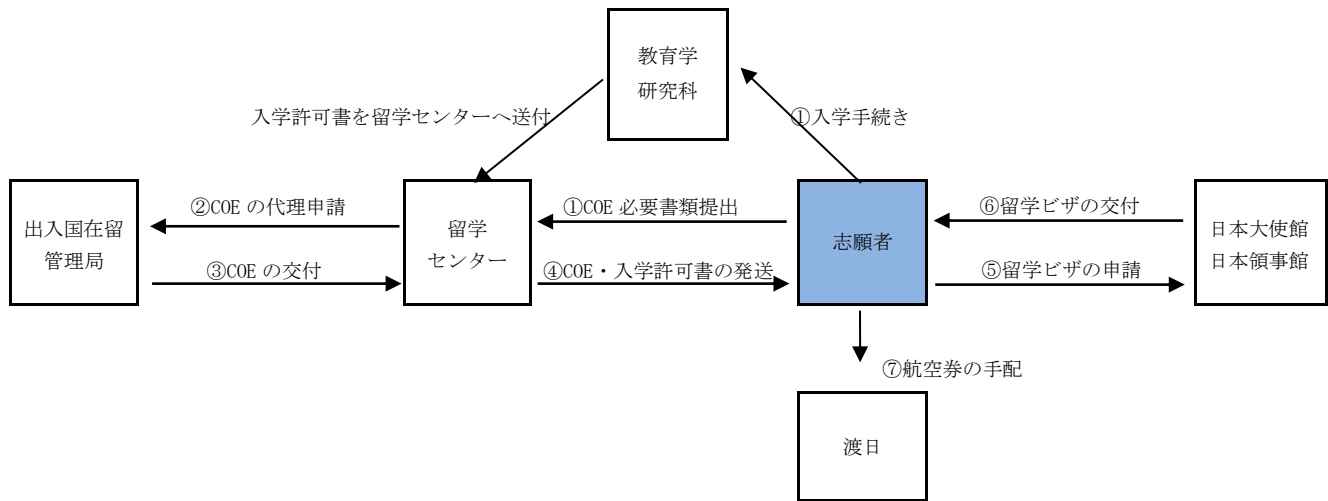
（４）在留資格を有していない場合

在留資格を申請するには、まず日本国内の出入国在留管理局に「在留資格認定証明書」（Certificate of Eligibility＝COE）を申請する必要があります。早稲田大学では**入学手続を完了した国外居住の外国籍学生に限り、本人に代わって出入国在留管理局にCOEの代理申請を行います。**必要書類を**2023年12月1日（金）まで（必着）**に、書留便（国際スピード郵便等）で早稲田大学留学センターへ送付してください。代理申請後、COEが出入国在留管理局より早稲田大学に交付されましたら、早稲田大学留学センターから申請者に入学許可書とともに郵送いたします。COEを受け取った後は、パスポート、入学許可書とともに国籍を有する国または居住国の日本大使館、領事館で「留学」ビザ（査証）を申請してください。COEの**有効期間は3か月**ですので、有効期間内にビザを取得し、渡日してください。COE代理申請書類の受取りから出入国在留管理局への代理申請、審査、COEの交付まで2～3か月程度を要しますので、申請が入学直前にならないよう注意してください。

【留学ビザ取得までの流れ（①→⑦）】

※留学ビザ交付にかかる日数は大使館、領事館によって異なり、場合によっては3週間ほど要します。

留学センターにCOE申請書類を提出後、申請予定の日本大使館、日本領事館へ連絡して、おおよその所要日数を把握しておいてください。



（５） 在留資格の取得、変更（自己申請） 〈査証免除／短期滞在ビザで入国している場合〉

査証免除／短期滞在ビザ（観光、商用、知人・親族訪問等90日以内の滞在で報酬を得る活動をしないう場合）で入国した場合、原則として、日本国内での資格変更は認められていません。しかしながら、入学試験日が年度末（2月末、3月）で、新学期までに再度帰国が難しい場合は、志願者本人が東京出入国在留管理局でCOEの申請を行い、在留資格の取得が許可され証明書が発行されたら、資格変更手続を行ってください。ただし、例外的な受付となりますので、在留資格の変更が許可されない場合もあります。その際は、一度出国し、国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館でCOEを提出し、留学ビザを取得してから再入国してください。在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、審査の期間や結果について、早稲田大学は一切責任を負いません。

（６） その他注意事項

- ・ 早稲田大学留学センターが代理申請を行う在留資格は「留学」のみです。その他の在留資格を申請する場合は、自身で出入国在留管理局に申請してください。
- ・ 必要に応じて、出入国在留管理局から追加書類を要求されることがあります。
- ・ 事情により早稲田大学への入学を辞退する場合は、理由書（書式自由）とともに至急COEを留学センターへ返送してください。また、他大学も合格した場合、COEの交付申請が重複しないように注意してください。重複している場合、証明書は交付されません。
- ・ 重国籍者で日本国籍を有する場合は、COEを申請できません。
- ・ 在留資格審査は出入国在留管理局が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、航空券の違約金等、早稲田大学は一切の責任を負いません。渡航手配は慎重に行ってください。
- ・ 在留資格「留学」の手続に関しては早稲田大学留学センター（E-mail : cie-zairyu@list.waseda.jp）へ問い合わせてください。

＜在留資格認定証明書代理申請依頼書＞

◎以下の書類をすべて同封のうえ、書留便(国際スピード郵便等)を利用して早稲田大学留学センターへ送付してください。

【在留資格認定証明書】の申請に必要な書類) * 同封した書類に☑チェックをしてください。

- ☐ ①在留資格認定証明書交付申請書(申請人作成用 3 枚、3 か月以内に撮影した顔写真 1 枚添付)

http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/pdf/COE_202212.pdf

※必ず、申請書記載例を確認してください。

http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/pdf/COEsample_jp_202212.pdf

- ☐ ②パスポートのコピー(顔写真のページ)

- ☐ ③経費支弁書(本人以外が経費を負担する場合のみ必要。)

※所定用紙は以下よりダウンロードしてください。

<http://www.cie-waseda.jp/visastatus/jp/pdf/5keihisibensho.pdf>

- ☐ ④経費支弁に関する書類(原本)

1	本人が経費を負担する場合	預金残高証明書※1(本人口座)
2	奨学金を受給する場合	奨学金受給証明書
3	本人以外が経費を負担する場合	預金残高証明書※1(経費負担者口座)および経費支弁書

※1 残高証明書の注意点

- ・口座名義人名、銀行名、日付、預金残高が確認できるもの。
- ・1 年分の生活費として 96 万円以上の残高が必要。
- ・日本語・英語以外の言語の場合は日本語訳または英訳を添付すること(翻訳公証は必要ありません)。
- ・日本円以外の預金残高証明書の場合は、留学センターで書類確認時のレートで換算します。

- ☐ ⑤ 在留資格認定証明書代理申請依頼書(本書面)

- ☐ ⑥ 早稲田大学入学時に最終学校を卒業後 5 年以上経過している場合は、以下の2点も提出してください。

1. 履歴書(書式自由。A4 用紙に作成のこと。経歴と勉学理由を記載すること。)
2. 今後の進路を説明する資料(書式自由。A4 用紙に作成のこと。早稲田大学卒業後の進路について記載すること。)

申請書類送付締切日

2023/12/1 (金)【郵送必着】

※「在留資格認定証明書」の審査には2~3 か月の時間を要しますので、締切日にかかわらず、入学金・学費振込を速やかに完了し、早めに申請することを推奨します。

宛先

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-7-14-4F

早稲田大学留学センター

「在留資格代理申請」係

電話:03-3207-1454

問い合わせ先

E-mail: cie-zairyu@list.waseda.jp

氏名 (英字表記)	
在留資格認定証明書の受取人および 受取人の住所(日本国外)(英字表記) * 変更があった場合はただちに連絡すること	受取人名:
	住所(日本国外):
	都市名:
	州/省名:
	国名:
	郵便番号:
	電話番号:
E メールアドレス	
入学予定研究科	大学院教育学研究科
受験番号	

6. 特定国からの志願者に対する検定料免除措置制度

以下の 1. に掲げる条件に合致する出願者は、本人からの申請に応じて入学検定料を免除します。

1. 適用条件

文末に記載の対象国に居住し、かつ対象国の国籍を有する者。

*居住国と国籍は同一の国である必要はありません。

*重国籍の場合は、いずれの国籍も前項の国に該当している必要があります。

2. 免除申請手続

出願書類として提出を求めている入学検定料支払証明書の代わりに以下の書類を提出してください。

1) 検定料免除措置申請書（所定様式：当研究科 Web サイトからダウンロード）

2) パスポートのコピー（本人に関する記載事項の全ての欄）

3. 注意

1) 出願期間終了後の申請はいかなる理由でも受け付けません。

2) 本免除申請をする場合は、検定料を支払う必要はありません。誤って支払ってしまった場合、入学検定料の返還は行いませんのでご注意ください。

3) 万が一、申請者が本免除措置の対象とならない場合や、虚偽の申請があった場合は、その事実が判明した時点で出願自体を取り消すことがあります。

[対象国*]

アフガニスタン、アンゴラ、バングラデシュ、ベニン、ブータン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、中央アフリカ、チャド、コモロ、朝鮮民主主義人民共和国、コンゴ民主共和国、ジブチ、エリトリア、エチオピア、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ハイチ、キリバス、ラオス、レソト、リベリア、マダガスカル、マラウイ、マリ、モーリタニア、モザンビーク、ミャンマー、ネパール、ニジェール、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、セネガル、シエラレオネ、ソロモン諸島、ソマリア、南スーダン共和国、スーダン、シリア・アラブ共和国、タンザニア、東ティモール、トーゴ、ツバル、ウガンダ、イエメン、ザンビア

*OECD/DAC が発行する ODA 受給国リストに掲載される「Least Developed Countries」「Low Income Countries which are not LDCs」の認定国

7. 提携金融機関（オリコ・楽天銀行）による「早稲田大学学費ローン（入学時）」

提携金融機関（オリコ・楽天銀行）による 「早稲田大学学費ローン（入学時）」

本学には、(株)オリエントコーポレーション（以下オリコ）、楽天銀行(株)と提携した「早稲田大学学費ローン制度」があり、入学時納入金に利用することができます。

本学費ローン利用にあたっては、自己責任のもと、申込期日や手続期日等の日程に注意し手続きをしてください。なお、審査結果により、利用できない場合があります。

■学費ローン（入学時）の概要

対象者	本学入学予定者の保護者、および入学予定者本人（満 20 歳以上） ※外国人留学生は利用できません。 ※審査結果により、利用できない場合があります。
対象費用	入学時の大学宛納入金額（登録料（入学金相当額）および学費等（春学期分））
分割払手数料率 （実質年率）	提携金融機関により異なります。
入金方法	利用金額は金融機関から本学へ直接入金されます。※利用者への入金はございません。

■利用手順

早稲田大学奨学課のホームページ（<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>）に、**学費ローンのインターネット申込用ページ**を公開しています。申込期日・申込方法・手続等の詳細はこちらをご覧ください。

■返済方法

本学費ローン利用の翌月より、指定口座から自動振替されます。返済方式は提携金融機関によって異なります。

■問い合わせ先

株式会社オリエントコーポレーション 学費サポートデスク

（営業時間 9：30～17：30 土日・祝日を除く）

〒102-8503 東京都千代田区麹町 5 丁目 2 番地 1 Tel. 0120-517-325 Fax. 052-231-3911

楽天銀行株式会社 教育ローン専用ダイヤル

（受付時間 平日 9：00～20：30 土日・祝日 10:00～17:30）

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-15 NBF 品川タワー Tel. 0120-61-6910

※必要書類の送付は原則スマートフォンアプリでの提出となります。郵送も可。

IV. 募集研究指導一覧・研究指導の内容

1. 募集研究指導一覧

※募集する研究指導は変更になる場合があります。出願の際は必ず最新の要項で研究指導をご確認ください。
変更した場合は、Web サイト各入学試験要項の変更履歴にも掲載します。

※★印の研究指導は、2027 年 4 月 1 日以降は退職に伴い廃止となります。

[教育基礎学専攻]

教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	藤井 千春
教育学研究指導	教授	博士(教育学) 北海道大	三上 敦史
教育学研究指導	教授	博士(教育学) 慶應大	坂倉 裕治
教育学研究指導	教授	博士(教育学) 筑波大	根津 朋実
教育学研究指導	教授		菊地 栄治
教育学研究指導	教授		三尾 忠男
教育学研究指導	教授	博士(教育学) 東京大	吉田 文
教育学研究指導	教授	博士(教育学) 東京大	濱中 淳子
初等教育学研究指導	教授	博士(心理学) 筑波大	河村 茂雄
初等教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	佐藤 隆之
初等教育学研究指導	教授	博士(教育学) 東京学芸大	大泉 義一
教育心理学研究指導	教授	博士(教育学) 東京学芸大	上淵 寿
教育心理学研究指導	教授	博士(医学) 筑波大	堀 正士
教育心理学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	椎名 乾平
教育心理学研究指導★	教授	博士(医学) 浜松医科大	坂爪 一幸
教育心理学研究指導	教授	Ed. D. (コロンビア大)	本田 恵子
社会教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	坂内 夏子

[教科教育学専攻]

国語科教育学研究指導	教授	博士(教育学) 早稲田大	幸田 国広
国語科教育学研究指導	准教授	博士(教育学) 早稲田大	菊野 雅之
国語科内容学研究指導	教授		松木 正恵
国語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	松本 直樹
国語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	新美 哲彦
国語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	福家 俊幸
国語科内容学研究指導★	教授	博士(人文科学)お茶の水女子大	田渕 句美子
国語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	内山 精也
国語科内容学研究指導	教授		金井 景子
国語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 慶應大	五味渕 典嗣
国語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	和田 敦彦
英語科教育学研究指導	教授	Ph. D. (ダラム大)	折井 麻美子
英語科教育学研究指導	教授	Ph. D. (カリフォルニア大)	澤木 泰代
英語科教育学研究指導	教授	Ph. D. (カリフォルニア大)	原田 哲男
英語科教育学研究指導	教授	博士(学校教育学)兵庫教育大	オオガーボールドウィン ウィリアム
英語科教育学研究指導	教授	Ph. D. (カリフォルニア大)	佐々木 みゆき
英語科教育学研究指導	准教授	博士(外国語教育学) 関西大	マキユワン 麻哉
英語科教育学研究指導	准教授	Ph. D. (ペンシルベニア州立大)	木村 大輔
英語科内容学研究指導	教授	Ph. D. (ハーバート大)	久野 正和
英語科内容学研究指導	教授	博士(文学)デューズブルーク-エッセン大	バックハウス ペート
英語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 上智大	新川 清治
英語科内容学研究指導	教授	博士(文学) 九州大	虹林 慶
英語科内容学研究指導	教授	Ph. D. (ワイソコンシ大マディソン校)	佐久間 由梨
英語科内容学研究指導	教授	Ph. D. (ニューヨーク州立大バッファロー校)	和氣 一成
社会科教育学研究指導	教授	博士(学術) 早稲田大	池 俊介
社会科教育学研究指導	教授	博士(教育学) 東京大	近藤 孝弘

社会科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	高木 徳郎
社会科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	大橋 幸泰
社会科内容学研究指導	教授	博士(文学) 早稲田大	石濱 裕美子
社会科内容学研究指導★	教授	博士(文学) 東京大	小松 香織
社会科内容学研究指導	教授	博士(歴史学) ナンシー大	堀越 宏一
社会科内容学研究指導	教授		小森 宏美
社会科内容学研究指導	教授	博士(理学) 東京都立大	久保 純子
社会科内容学研究指導	教授	博士(学術) 東京大	箸本 健二
社会科内容学研究指導	教授	博士(学術) 東京大	山内 昌和
社会科内容学研究指導	教授		遠藤 美奈
社会科内容学研究指導	教授		熊谷 善彰
社会科内容学研究指導	教授	博士(社会学) 東京大	若林 幹夫
社会科内容学研究指導	教授	博士(社会情報学) 東京大	野上 元
数学科教育学研究指導	教授	Doctorat グルノーブル第一大	宮川 健
数学科教育学研究指導	教授	博士(学術) 早稲田大	高木 悟
数学科内容学研究指導	教授	理学博士(早稲田大)	新井 仁之
数学科内容学研究指導	教授	博士(数理科学) 東京大	梁 松
数学科内容学研究指導	教授	博士(数理科学) 東京大	戸松 玲治
数学科内容学研究指導	教授	博士(理学) 大阪大	村井 聡
数学科内容学研究指導	教授	博士(理学) 京都大	小森 洋平
数学科内容学研究指導	教授	博士(情報学) 京都大	高島 克幸
数学科内容学研究指導	教授	博士(理学) 早稲田大	谷山 公規
数学科内容学研究指導	准教授	博士(数理科学) 東京大	山口 祥司

2. 研究指導の内容

〔教育基礎学専攻〕

教育学研究指導

藤 井 千 春

J.デューイをはじめアメリカのプラグマティズムの哲学思想を中心に学びます。研究対象とした人物の哲学思想に関する博士論文の作成に向けての作業に取り組むとともに、学校教育の在り方や協働的・探究的な学習法に関する各自の理論を構築することを目指します。大学の教職科目担当の研究者教員、また高度専門職としての入学者は大学の教職科目担当の実務家教員となるための専門的・実践的な理論と方法の開発が期待されます。

教育学研究指導

三 上 敦 史

教育史は一次史料を大切にしつつも、周辺の史料群に目を配り、制度・政策・実態のありようや変遷を解き明かす学問である。すなわち目標とするのは教育・人間に関する問題を歴史的な文脈で説明する「作法」の習得なのであって、研究テーマや時代に制限はない。各自が選び取った研究テーマについて、どのような史料を用いて説明するのか、そのためにはどこで何をどう探索するのか、いかなる手法で分析・説明するのかといった具体的な研究活動を指導するとともに、博士論文の執筆に向けた支援を行う。

教育学研究指導

坂 倉 裕 治

教育哲学は危機管理の学である。教育諸学を深めようとする学生、教職をめざす学生の双方にとって、予想外の困難を解決するためにとるべき思考の手順についての認識を磨くことが重要である。研究職をめざす学生には、文献研究において最低限守らなければならない作法・手続きを習得するための支援、文献研究に必須の外国語の運用能力向上のための支援を柱として指導する。留学や海外の研究機関と連携した研究活動についても支援する。

教育学研究指導

根 津 朋 実

カリキュラム研究を中心に、修士論文の成果等を学会で発表し、学術論文にまとめるための指導を行う。修士論文の執筆と、その成果の対外的な発表とは、基本的に異質な作業である。博士課程においては、定期的な研究指導を通じ、自立したカリキュラム研究者としての基盤の形成を目指す。具体的には、カリキュラム研究や関連分野に関する諸実践を学術的に扱う、方法論の洗練に重きをおく。

教育学研究指導

菊 地 栄 治

教育研究は「制度としての教育」の現実を丁寧に記述し、深く考究することから始まる。本研究指導では、方法主義や分断された科学のとりわれを乗り越えつつ、多元的現実との対話の中で問いを鍛え、先行研究を渉猟した上で、教育社会や学校組織等に具体的に還元できる知を協働生成していきたい。その際、国民国家／資本主義／近代を典型とするシステム化された呪縛を解くための学修が前提条件となる。

教育学研究指導

三 尾 忠 男

教育の諸課題を、システムズアプローチで分析し、工学的なアプローチで目標達成や問題解決を目指す分野である。この研究指導では、研究テーマについて教育システムの要素を分析し、その問題点を明確化し、最適なシステムを追求する研究方法を指導する。教育工学会等関連学会での発表も奨励したい。

教育学研究指導

吉 田 文

教育社会学的の各種理論と分析方法の修士課程における習得のもとに、博士課程では、研究上のオリジナルな問いをブラッシュアップし、国内外の先行研究を渉猟し、精度の高いデータを収集・分析し、質の高い学術論文を執筆するための指導を行う。英語論文の購読、関連する国内外の学会での研究発表は必須とし、さらには、多様な共同研究に参加し他流試合に臨むことを奨励する。

教育学研究指導

濱 中 淳 子

高等教育や高大接続、大学入学者選抜、あるいは就業後の学びをテーマにした学術論文をまとめるための支援を行う。具体的には、問いの設定、先行研究のレビュー、課題にせまるために適した調査の企画と実施、データの分析ならびに論文執筆といった一連の流れのなかで必要な指導を行う。また、関連学会の大会での発表や学外での共同研究等の活動についても奨励しているので、適宜助言をしていきたい。

初等教育学研究指導

河 村 茂 雄

担当者の研究テーマは、人間の教育・発達を促進する人間関係、集団体験のあり方をカウンセリング心理学の立場から明らかにしていくことである。したがって、このような領域にかかわる研究者や教育及びカウンセリング指導者の育成を行いたい。研究テーマは、児童期・初等教育学を直接対象とするものだけではなく、教育・発達に関する全領域をその対象とするが、実証的研究であることが条件である。そして、各自のテーマに応じたデータの収集・分析、論文作成の指導を行う。関連する学会での活動も奨励したい。

初等教育学研究指導

佐藤隆之

初等教育やその前後に位置する就学前や中等教育の理念・思想・歴史に関わる研究を行う学生を対象として、博士論文の作成に向けての指導を行う。関連する先行研究や最新の研究の整理、学会発表、論文作成などについて、修士課程における研究を進展させながら、より高度な研究が行えるように支援する。担当者はこれまで、新教育とその系譜に立つ思想やそれに基づく実践史について研究してきた。新教育は、「子ども中心」をスローガンとして、教育、学校、子ども、教える、学ぶ、経験、思考といった概念を捉え直し、新奇で独自性の高い多様な改革を実践に移すことで、学校制度や組織、教授法、カリキュラムなどに影響を与え続けている。本研究指導においては、「進歩主義（新教育）」、「子ども中心」、「経験主義」などに関する多様な主張や解釈について学びながら、現在求められている、個に応じた教育の理念と方法、能動的・主体的な学びの原理、プロジェクト型教育の理論と実践などについて理解を深めたい。

初等教育学研究指導

大泉義一

芸術教育、とりわけ視覚芸術・デザインに関する教育のあり方に関する博士論文の作成に向け、理論・実践の両面から指導を行なう。また関連する学会等での発表や学外での実践・研究活動についても支援する。我国の美術教育実践を成立させている諸要件について、歴史的、社会的、文化的、実践的な諸側面から確認するとともに、今後の芸術教育のあり方について、デザインシンキングやスペキュラティブ・デザイン等の理論から検討する。また学校外での芸術体験の意義について、ワークショップの企画・開発・実践を通して実証的に探究してゆく。

教育心理学研究指導

上淵 寿

発達心理学（特に感情、アタッチメント、自己）と教育心理学（特に学習動機づけおよび学習プロセス）に関する研究指導を行います。受講者が博士論文を作成するために必要なアイディアの発表などや討論なども行うことがあります。

さらに、ミニ博論を節目節目で提出してもらいます。これは、研究や論文執筆を指導教員がきちんと評価するためであり、また受講者が時期を経るごとに、博論をより良いものに発展させていくためです。

教育心理学研究指導

堀 正 士

当研究指導では、臨床心理学・精神医学と教育の2つをキーワードにした研究を実践する学生を対象とする。各自のテーマに応じたデータ収集法、研究計画法、論文作成などを指導する。

教育心理学研究指導

椎 名 乾 平

心理測定学を基本にした、広義の評価・測定論の指導を行う。数理統計学的な研究も当然扱うが、椎名のポリシーではデータが生成されるまでのプロセスを重視するので、認知心理学・認知科学的発想の実験的研究の指導も行う。また、評価の社会的歴史的側面についても、心理学の範囲ならば指導の対象としたい。

教育心理学研究指導

坂 爪 一 幸

障害心理学、神経心理学、発達神経心理学、教育神経心理学、高次脳機能障害学、発達障害学、認知リハビリテーション、リハビリテーション心理学などの領域に関連した研究テーマを主に指導する。小児から成人・高齢者までを対象に、さまざまな「障害」とその回復・治療・適応過程などを主な手がかりにして、人間（心）の理解と形成（治療・教育）について理論的・実証的に考え、そして実践につながる研究を重視した指導を行う。

教育心理学研究指導

本 田 恵 子

学校心理学の研究手法に基づき、実践研究を行いながら論文の作成を行ってゆく。テーマは、発達障害、矯正教育、学校カウンセリング、から選ぶ。

教育心理学研究指導

梅 永 雄 二

修士レベルからより専門的に自閉症スペクトラム児者支援を掘り下げて指導を行う。具体的には TEACCH プログラムで実践されているアセスメントである TTAP（TEACCH Transition Assessment Profile）、知的障害を伴わないアスペルガー症候群の高校から成人生活への移行プログラムである T-STEP（TEACCH School Transition to Employment and Postsecondary Education）等の内容を吟味し、我が国における発達障害者の社会参加の課題、それらを解決すべき支援のあり方を研究する。

社会教育学研究指導

坂 内 夏 子

修士課程段階からより専門的に、生涯にわたる人間形成と教育のあり方、生涯学習支援について研究を深めるために必要な支援を行う。博士論文や学会誌等論文の執筆に関し適宜指導を行いながら、関連学会での活動も奨励する。

【教科教育学専攻】

国語科教育学研究指導

幸 田 国 広

我が国の国語科教育について、その理論的・歴史的研究を行う院生を対象として、博士論文作成に向けた指導を行う。特に、歴史的事象の本質の検討、形成過程や変容プロセスの解明の仕方、理論から実践への応用や実践の理論化への方法等について考究したい。また、論証性と実証性の確かな研究論文の作成に留意したい。

国語科教育学研究指導

菊 野 雅 之

本指導では、博士論文執筆に求められる国語科教育学研究のために必要な研究力を形成する指導を行います。国語科教育に関する資料読解や研究文献の精査・批評、学生による報告、授業実践報告などを通じて、博士論文執筆のために必要な研究力の形成を図ります。博士論文完成に向けた研究計画の作成、研究の進捗報告、論文投稿、学会発表などの支援も行います。

国語科内容学研究指導

松 木 正 恵

日本語学（国語学）の各領域・分野について、各自の修士論文の成果の上に立って、研究テーマの深化と発展を期す。関係文献の閲読、それぞれの博士論文の進捗状況の発表等の機会を設けて全員で議論をし、研究方法の明確化と具体的な研究内容の進展を図る。それぞれの分野の研究水準を知るためにも、国内外の研究会・学会等への参加や学会発表・学会誌への論文投稿を積極的に促しつつ、最終的には、自立した研究者としての基盤の確立と博士論文の完成を目指す。

国語科内容学研究指導

松 本 直 樹

『古事記』『日本書紀』『万葉集』や各国「風土記」などの作品に代表される上代文学および関連する古典教育分野の博士論文作成にむけた研究指導を行う。

国語科内容学研究指導

新 美 哲 彦

平安時代における散文と後世の受容を中心に研究指導を行う。具体的には、物語文学・日記文学の領域で、ある作品およびその受容作品を分析し、先行研究を精査した上で、各自のテーマに基づいて考察を進め、学会での研究発表を行い、論文を執筆するまでの過程を指導する。博士論文を目指して、研究発表・論文執筆を行って欲しい。

国語科内容学研究指導

福 家 俊 幸

中古文学を対象とする各自の修士論文の研究テーマをさらに発展させ、研究目的に適合する研究方法を広い展望と理解の中で深めて行く。作品、論文精読を通じて、中古文学にかかわる文化や歴史の深い知見の習得を求めたい。あわせて各自の研究の進捗状況に応じ逐次研究発表を重ね、論文作成に向けて指導を行う。

国語科内容学研究指導

田 淵 句美子

平安時代後半から中世（鎌倉時代～室町時代）における韻文とその周辺を中心に、研究指導を行う。具体的には、和歌文学・日記文学・女房文学の領域で、ある作品を分析し、時代・思潮の中において位置づけ、作者を据え直し、作品の形成の具体相を論じて論文とするまでの指導をする。博士論文の計画と執筆をすすめ、学会発表と学術論文の執筆を重ねてほしい。

国語科内容学研究指導

内 山 精 也

中国における中国古典研究が正常化し、求心力を高めている現状のなかで、日本の関連研究もその存在意義が改めて問われている。日本の伝統的な強みを再認識しつつも、独自性を自覺的に強化する必要に迫られているといつてよい。このような観点から、われわれはまず足許を見つめる作業から始めなければならないであろう。すなわち、訓読の意義、そして中国古典の受容と再生産等々から今一度考え直す必要がある。その上で、日本人の作った漢詩文に光を当ててゆきたい。それは、研究の独自性を担保するだけでなく、漢文教育の新教材開発へと直結するプロセスとなるであろう。

国語科内容学研究指導

金 井 景 子

- 博士論文の執筆に向けて、
- 1、対象となる資料体の調査
 - 2、先行研究の批評
 - 3、持論の提示
 - 4、論文の執筆

を実施し得るように支援します。それを研究することにどのような意味があるのか自問自答を重ねることも重要です。そうした問いかけもして行きます。

国語科内容学研究指導

五味 淵 典 嗣

近現代の日本語による文学・文化を対象とする博士論文の作成を念頭に、研究テーマを精緻化し、未公開資料を含めた幅広い文献資料の探索と調査、研究動向を踏まえたテキスト分析の打ち出し方等にかんする指導と支援を行う。個々の受講者の研究テーマや問題意識を大切にしながら、隣接領域での知見との対話をふくめ、幅広い視野を持った博士論文を完成させることを目標としたい。また、博士論文の執筆に向け、全国規模での学協会・国際ワークショップ等での口頭発表や論文の投稿など、研究成果の公表に向けた支援も行う。

国語科内容学研究指導

和田 敦 彦

指導においては、メディアと読者の関係に軸をおきながら、近代の表現について様々な角度から問題にしていけます。文献資料の購読、調査、整理の実践、及び口頭発表やディスカッションを通しての問題意識の明確化、そして幅広い研究方法に対する知識を身につけながら、各自の自身の問題を掘り下げていきます。

英語科教育学研究指導

折 井 麻美子

本研究指導は、英語教授法、教材開発、各技能の指導法（特に発音や聴解指導、スピーキング指導）、外国語習得理論などをテーマとした博士論文執筆の助言・支援を行います。

英語科教育学研究指導

澤 木 泰 代

本研究指導は、応用言語学の中でも特に英語教育における言語テストを中心テーマとする。言語テスト開発・妥当性検証の根幹となるテスト理論や第二言語習得理論、教育測定学など様々な観点から言語テストについて検討することにより、専門的知識・スキルの拡充をはかる。関連の研究分野での最新の動向を見据えながら、博士論文作成を通して教育現場でのテスト実践、また理論的テスト研究の両面において英語教育の場に根差した研究成果を積極的に発信していくことができるよう指導・支援を行う。

英語科教育学研究指導

原 田 哲 男

第二言語習得と外国語教育のインターフェースを扱い、教室での外国語学習に与える様々な要因を応用言語学の観点から考察する。とくに、内容と言語を統合したカリキュラム（CBIやCLIL、バイリンガル教育、イマージョン教育、English-medium instruction等）で、外国語がいかに習得されるかを研究する。第二言語習得は、学習開始年齢、インプット・アウトプット・インタラクションの質や量、母語と目標言語の使用量、教育形態など様々な要因が関与しているが、それが一般の外国語学習者だけでなく、バイリンガルや早期外国語学習者の第二言語習得にいかに関与しているかを検討する。博士論文執筆の出発点として、国際会議での発表や海外の学術雑誌への投稿を目標とする。担当教員の最近の研究動向（イマージョン教育や早期外国語教育の音声習得が中心）は、researchmapにアクセスし研究者の名前で検索するか、次のリンク（<https://researchmap.jp/read0129869/>）から参照できる。

英語科教育学研究指導

オオガ・ポールドウィン ウィリアム

教育現場の実証的研究を中心に指導する。初等・中等教育の学習環境と学習者の個人差の関係を測定し、理論に基づいた普遍的な問題を研究する。そのため、研究法や統計法をある程度把握している方、または教育・心理学の理論を多く理解している方が望ましい。博士論文の作成を通して、日本国内だけではなく、積極的に国際学術社会に影響を及ぼせる研究ができるよう指導・支援を行う。

英語科教育学研究指導

佐々木 みゆき

本研究指導では、人はなぜ、どのように第2、第3の言語で書く力を発達させるのか、それはどのように第1の言語で書く力と関わるのかについての学問である、「第二言語ライティング論」の基礎知識に基づき、興味があるトピックで博士論文執筆ができるよう指導・支援を行います。具体的には、(1)背景となる思想や研究方法の変遷を確認し、(2)興味のあるトピックに対する学界での最新の動向を理解し、関連論文を系統だてて読む、(3)妥当性があり実行可能なResearch Questionsを問う研究を企画する、(4)より良い執筆方法と結果の発信方法を模索する、という形で授業を進めます。

英語科教育学研究指導

マキュワン 麻哉

学習者要因（動機づけ、認知スタイル、不安、性格、バーンアウト、ストレスなど）がどの程度、第二言語や外国語の習得に影響を及ぼすかを研究します。応用言語学や心理学における様々な理論を網羅し、理論に基づく実証研究に取り組みます。またその結果を教育実践のみならず、理論や学問分野の発展に貢献できる形で論文を執筆します。

英語科教育学研究指導

木 村 大 輔

グローバル社会における英語と多言語コミュニケーションについて探究する。博士後期課程では、応用言語学・社会言語学についての広い見識と、専門分野の動向や論点についての深い理解を身につけ、専門家の批判に耐えうる研究の計画・実施を目指す。学会発表や論文投稿のサポートも適宜行う。

キーワード： 応用言語学、社会言語学、語用論、世界の英語（World Englishes）、共通語としての英語（English as a lingua franca）、会話・談話分析、言語景観、言語イデオロギー、多言語コミュニケーション、マルチモダリティ、トランスリンガリズム、異文化コミュニケーション

英語科内容学研究指導

久野正和

私の研究室では、生成文法の統語論を中心とした研究指導をしています。近年では、特に統語論と数学の融合を目指しています。具体的には、極小主義における併合を数学の加法と乗法に対応させることで、移動の根本理由は共通因数の括り出し（因数分解）であるという数学的主張を提案しました。また、移動の局所性条件は数学の式変形と同じ原理によって説明可能であることも示しました。併合と移動以外でも、否定一致表現を虚数単位*i*とする分析や、多重指定部のabba型構造をハノイの塔の数理に帰着する発想など、統語論と数学の間を自由に行き来しながら、日々研究を続けています。学生指導においては、統語論研究を中心に据えながら、数学、物理学、生物学などのサイエンス全体にも精通した射程の広い研究者に成長してもらえるように、心掛けています。

英語科内容学研究指導

バックハウス ペート

社会言語学の研究に興味と経験のある院生を募集する。研究計画から論文執筆までサポートする。研究指導は完全に英語で行われるため、アカデミック英語に不自由がないことが必須である。

英語科内容学研究指導

新川清治

本研究指導では主に歴史的視点からの言語研究を博士論文にまとめる支援を行う。原則的に修士論文の内容を発展させる形で指導を進める。時期や分野は問わないが、担当教員自身は現在、初期中英語期の形態論、統語論を中心に扱っている。

英語科内容学研究指導

虹林 慶

修士課程で培った力を博士論文の完成へとつなげることができるよう支援します。よって、一定の学術活動ができることが前提条件です。イギリス文学の19世紀の詩や散文などが担当教員の専門分野ですが、それ以外の領域についても対応します。

英語科内容学研究指導

佐久間 由 梨

アメリカ文学・文化研究の応用・実践的技能（資料収集、先行研究の調査、アカデミック・ライティング、日本語・英語によるプレゼンテーション、議論および意見の共有に加え、学会発表の技術）を養成し、質の高い博士論文へと結実させることが目標です。研究職を志す学生には、(1)論文を査読付きの学術誌に投稿すること、(2)学会発表を行うこと、(3)アメリカの大学院（博士課程）へと進学することを目標とした指導も行います。担当教員の専門領域は19世紀から現代までのアフリカ系アメリカ人文学・文化・音楽およびポピュラー音楽研究ですが、研究指導の範囲はそれらに限らず、アメリカに関連する分野全般とします。

英語科内容学研究指導

和 氣 一 成

担当者の専門分野は主にアメリカ20世紀モダニズム以降の文学、文化（映画）であり、特に批評理論、人種、階級、ジェンダーと複合的トラウマの表象を主な研究対象としている。自らの設定したテーマに基づいた博士論文の完成に向けて、批評理論をきちんと踏まえた上で先行研究を精査、検証し、自らの研究報告とそれについての討論を通して、学会報告や論文投稿の執筆ができるよう指導を行う。

社会科教育学研究指導

池 俊 介

社会科教育論の研究分野は多岐にわたるが、主として地理教育論に関する研究指導を行う。地理教育史、子どもの地理的認識の発達、地図・フィールドワーク等の地理的スキル、外国の地理教育に関する研究など、可能な限り広い分野を視野に入れ、学生が各自の問題関心に基づいて博士論文を作成できるよう指導する。

社会科教育学研究指導

近 藤 孝 弘

主として研究者の道を進もうとする学生を対象に、公民教育・歴史教育の研究指導を行う。特に博士論文執筆と学会活動の支援を中心に、研究計画の作成・遂行・成果発表の仕方等に関する指導を通じ、受講生がそれぞれの学問分野において自立した研究者として出発する上で必要な知識と技能の習得を図る。

社会科内容学研究指導

高 木 徳 郎

日本の平安時代から戦国時代（10～16世紀）における政治・経済・社会・文化に関する諸問題を歴史学的に考察し、修士論文のテーマをさらに発展させ、研究史に寄与しうる博士論文の作成を目指すよう指導する。但し、博士課程に在籍する学生に対して向けられる社会的な要請をよく自覚し、積極的に学会活動をはじめとした学外での活動に参加することもきわめて重要である。そうした活動を通じて初めて、自分の研究が学界や社会の中でどのような意義をもち、何が自分に期待されているのかをよく把握・理解でき、研究者としての自立が可能になるのである。現地調査・史料調査もそうした観点から必須であるし、在学中に必ず、研究論文の投稿や学会報告などの経験を積むことが求められる。

社会科内容学研究指導

大 橋 幸 泰

日本近世史（16C 末－19C 中）の諸問題を材料に、歴史学を専攻するうえで必要な、史料の読解力と研究史の把握力を鍛える。その際、前近代的要素と近代的要素の両方の側面を総合的に捉えることにより、近世の固有性を追究することに力点を置く。とりわけ歴史に向き合う姿勢として、生活者の視点を大事にし、政治・経済・文化の諸相を複眼的に捉える訓練を行う。また、日本近世史を専門としつつも、その前後の時代および同時代の日本列島の外的世界との関係を意識しながら、過去の人びとの営為を跡づけるとともに、歴史学の社会的責務についても考えていく。

社会科内容学研究指導

石 濱 裕美子

担当者の専門分野は、13 世紀以後近現代にいたるまでの、チベット・モンゴル・満洲地域の歴史である。歴史学の基本は、先行研究をふまえた上で、その上で、原史料を読解し、史料批判していくことである。そのため、博士論文に用いる史料を読解するための語学力の獲得をひきつづき続け、さらに利用する史料の性格を把握し、可能な限り様々な立場でしるされた史料を複数つきあわせて、歴史的事象を特定の国・民族・地域にしばられない俯瞰的な視点から読み解く訓練を行う。

社会科内容学研究指導

小 松 香 織

オスマン帝国近代史を研究対象として、院生各自の問題関心や研究テーマを考慮しつつ公文書や定期刊行物などさまざまな種類のオスマン・トルコ語史料を読み、博士論文作成に向けて指導をおこなう。

社会科内容学研究指導

堀 越 宏 一

参加者の専攻分野に合わせて、古代から 17 世紀ころまでの前近代ヨーロッパ史に関する史料と研究文献を講読しつつ、博士論文作成に向けての研究指導を行う。研究動向を幅広く理解するために、歴史学だけでなく、歴史社会学や人類学、民族学などの関連諸分野も含めた先行研究の文献に触れることを重視したい。

社会科内容学研究指導

小 森 宏 美

ヨーロッパ近現代史における史学史と歴史学の方法論を中心に研究指導を行う。北欧、東欧、ロシア／ソ連が担当者の専門領域であるが、それ以外の地域・国を対象とした研究にも対応する。

社会科内容学研究指導

久 保 純 子

担当者の専門分野は自然地理学（地形学・第四紀学）で、おもに「平野」の地形を対象としている。最近の研究テーマとしては、関東平野における第四紀の地形・環境変化、日本やアジアをフィールドとした先史時代・歴史時代の平野の環境、自然災害と地形などがある。研究室ではフィールドワークを重視しつつ各人がオリジナルな研究をすすめる、学位論文を完成させることをめざす。また、他大学や学会・研究会での研究発表や野外巡検なども活発におこないたい。（担当者の web site <http://www.f.waseda.jp/sumik/>）

社会科内容学研究指導

箸 本 健 二

担当教員の専門分野は経済地理学および都市地理学であり、特に大都市圏における商業立地や、地方都市における中心市街地問題とその活性化を主な研究対象としている。研究指導では、学生個々の目的意識と研究テーマを尊重しつつ、その内容が人文地理学という学問体系の中でどう位置づけられるか、具体的な対象設定と実査をどのように行うか、そして蓄積された個別の研究をいかに博士論文に収斂するかについて、ゼミだけではなく、現地調査ならびに他大学院との合同勉強会（インターゼミ）など様々な機会を通じて指導する。

社会科内容学研究指導

山 内 昌 和

担当者の専門分野は人口地理学および農山漁村地理学である。研究上の関心は持続的な地域社会の仕組みを探ることにあり、最近では地域における人口・家族・世帯の変化と就業・産業構造の変容との関連の解明が研究課題である。研究指導では、学生の関心を尊重しつつ、隣接領域の成果も踏まえながら各自の研究上の位置づけを明確にし、最終的に博士論文にまとめることを目指して学会での報告や投稿論文の執筆を進めることをサポートする。

社会科内容学研究指導

遠 藤 美 奈

担当者の問題関心は、人間生活に必要なニーズの充足について公権力は憲法上どのような義務を負うかに存する。研究指導では、憲法に関わる博士論文の完成に向けて、憲法の解釈論及び憲法理論に関する内外の先行研究について検討し、各人の研究報告とそれに対する討論を通じて、論文の完成に向けた指導を行う。

社会科内容学研究指導

熊 谷 善 彰

株式・債券・為替・商品などの市場の価格変動メカニズムの分析、企業・家計などの経済主体がリスクのある状況で行う意思決定についてリアル・オプションなどのファイナンス理論を応用した分析を主な対象とする。学生の研究テーマに関連した先行研究を精査しつつ、学会報告、論文投稿、そして博士論文の作成を支援する。

社会科内容学研究指導

若 林 幹 夫

都市、メディア、空間、時間、身体等を対象とする社会学理論、比較社会学、現代社会論を専門とする。社会学のみならず隣接する社会諸科学や人文諸科学等も視野に入れた文脈の中に各自の問題意識を位置づけ、学会報告、専門誌への論文投稿から博士論文の提出にいたるまでの指導をおこなう。

数学科内容学研究指導

野 上 元

担当教員の専門は、歴史社会学と戦争社会学である。前者は、歴史研究一般に近い歴史社会学と、歴史認識や記憶、メディア・表象分析に焦点を当てる「歴史の社会学」の両方を含む。また後者は、「戦争・軍隊と社会」に関わる歴史的・現代的なテーマを広く扱う。学生の興味関心を最大限尊重するが、どのようなテーマであれ、様々な対象・資料にアプローチする調査・データ分析に関わる実証的な社会学的想像力を持ってもらうよう指導する。

数学科教育学研究指導

宮 川 健

数学教育学、とりわけ数学の指導や学習の営みを理解するといった基礎的な研究に関する指導を行う。学術雑誌への論文投稿や学会発表、国内外の研究者との交流などを通して、数学教育学の研究者として自立する上で必要となる基礎的な知識・技能の習得を支援する。

数学科教育学研究指導

高 木 悟

テスト理論、ファジィ理論、ラフ集合理論などに基づく教育情報の分析法、評価法に関する研究指導を行なう。また、受講者の論文作成や学会発表による研究者としての能力を育成する。

数学科内容学研究指導

新 井 仁 之

フレーム理論とその応用、及び関連分野に関する研究指導を行い、博士論文の作成を目指す。

数学科内容学研究指導

梁 松

解析学の一分野として、確率論・確率解析及びその応用に関する研究指導を行う。学生が興味を持つ関連分野に関して、自ら先行研究の文献を調べ、テーマを選定する。また研究討論を通じて、必要となる基礎的知識を習得するとともに、研究分野において発展的議論ができるように支援を行う。

数学科内容学研究指導

戸 松 玲 治

解析学研究指導（博士前期課程）に引き続き作用素環論に関する、博士論文作成を目的とした研究指導を行う。

数学科内容学研究指導

村 井 聡

代数的組合せ論に関する研究指導を行う。可換環論、ホモロジー代数、表現論、組合せトポロジー、凸多面体の幾何学などの代数学や組合せ論の分野に関する基礎的な知識を習得するとともに、スタンレー・ライスナー環、エルハート環、単項式イデアル、二項式イデアルなどの理論について学び、それらを用いて可換環論や組合せ論の問題を研究する。

数学科内容学研究指導

小 森 洋 平

「幾何学研究指導」（博士前期課程）に引き続くものである。幾何学、特に双曲鏡映変換群の幾何、及び複素解析幾何に関する博士論文を書くための研究指導及び助言を行う。

数学科内容学研究指導

高 島 克 幸

暗号理論、暗号数理、計算数論に関する研究指導を行う。課題設定から論文作成まで、学生の自主性を尊重した指導と助言を行っていく。また、国内外の研究者とも活発に議論して、できるだけ独自の視点に基づいた研究・博士論文作成ができるように指導する。

数学科内容学研究指導

谷 山 公 規

位相幾何学（トポロジー）、その中でも特に結び目理論とその関連分野の研究指導を行なう。学生の長所を伸ばして、オリジナリティーの高い研究が出来るようにサポートする。

数学科内容学研究指導

山 口 祥 司

博士論文作成を目的とし、低次元位相幾何学や結び目理論における多様体または結び目の不変量に関する研究指導を行う。

V. 各コード一覧

1. 都道府県コード

都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード	都道府県	コード
北海道	01	埼玉県	11	岐阜県	21	鳥取県	31	佐賀県	41
青森県	02	千葉県	12	静岡県	22	島根県	32	長崎県	42
岩手県	03	東京都	13	愛知県	23	岡山県	33	熊本県	43
宮城県	04	神奈川県	14	三重県	24	広島県	34	大分県	44
秋田県	05	新潟県	15	滋賀県	25	山口県	35	宮崎県	45
山形県	06	富山県	16	京都府	26	徳島県	36	鹿児島県	46
福島県	07	石川県	17	大阪府	27	香川県	37	沖縄県	47
茨城県	08	福井県	18	兵庫県	28	愛媛県	38	海外	99
栃木県	09	山梨県	19	奈良県	29	高知県	39		
群馬県	10	長野県	20	和歌山県	30	福岡県	40		

2. 課程区分コード

課程区分	コード
学部卒業(見込)の場合	理科系学部卒(見込) → 25
	文科系学部卒(見込) → 26
修士課程(博士前期課程)修了(見込)の場合	21

3. 研究指導コード

※募集する研究指導は変更になる場合があります。出願の際は必ず最新の要項で研究指導をご確認ください。
変更した場合は、ホームページ各入学試験要項の変更履歴にも掲載します。

※★印の研究指導は、2027 年 4 月 1 日以降は退職に伴い廃止となります。

[教育基礎学専攻]

[コード]	[研究指導名]	[指導教員名]
A10	教育学研究指導	藤井 千春
A16	教育学研究指導	三上 敦史
A21	教育学研究指導	坂倉 裕治
A27	教育学研究指導	根津 朋実
A30	教育学研究指導	菊地 栄治
A35	教育学研究指導	三尾 忠男
A43	教育学研究指導	吉田 文
A44	教育学研究指導	濱中 淳子
A47	初等教育学研究指導	河村 茂雄
A48	初等教育学研究指導	佐藤 隆之
A49	初等教育学研究指導	大泉 義一
A56	教育心理学研究指導	上淵 寿
A61	教育心理学研究指導	堀 正士
A65	教育心理学研究指導	椎名 乾平
A70	教育心理学研究指導★	坂爪 一幸
A71	教育心理学研究指導	本田 恵子
A81	社会教育学研究指導	坂内 夏子

[教科教育学専攻]

[コード]	[研究指導名]	[指導教員名]
B03	国語科教育学研究指導	幸田 国広
B11	国語科教育学研究指導	菊野 雅之
B31	国語科内容学研究指導	松木 正恵
B35	国語科内容学研究指導	松本 直樹
B40	国語科内容学研究指導	福家 俊幸
B45	国語科内容学研究指導	新美 哲彦
B55	国語科内容学研究指導★	田渕 句美子
B75	国語科内容学研究指導	内山 精也
B80	国語科内容学研究指導	金井 景子
B92	国語科内容学研究指導	和田 敦彦
B93	国語科内容学研究指導	五味渕 典嗣
C11	英語科教育学研究指導	折井 麻美子
C21	英語科教育学研究指導	澤木 泰代
C40	英語科教育学研究指導	原田 哲男
C41	英語科教育学研究指導	オオガ・ボールドウィン ウィリアム
C42	英語科教育学研究指導	佐々木 みゆき
C43	英語科教育学研究指導	マキュワン 麻哉
C61	英語科教育学研究指導	木村 大輔
C71	英語科内容学研究指導	久野 正和
C72	英語科内容学研究指導	バックハウス ペート
C73	英語科内容学研究指導	新川 清治
C85	英語科内容学研究指導	虹林 慶
C92	英語科内容学研究指導	佐久間 由梨
C94	英語科内容学研究指導	和氣 一成
D10	社会科教育学研究指導	池 俊介
D16	社会科教育学研究指導	近藤 孝弘
D25	社会科内容学研究指導	高木 徳郎

D31	社会科内容学研究指導	大橋	幸泰
D41	社会科内容学研究指導	石濱	裕美子
D45	社会科内容学研究指導★	小松	香織
D46	社会科内容学研究指導	堀越	宏一
D50	社会科内容学研究指導	小森	宏美
D56	社会科内容学研究指導	山内	昌和
D60	社会科内容学研究指導	箸本	健二
D66	社会科内容学研究指導	遠藤	美奈
D73	社会科内容学研究指導	熊谷	善彰
D77	社会科内容学研究指導	若林	幹夫
D78	社会科内容学研究指導	野上	元
E15	数学科教育学研究指導	宮川	健
E25	数学科教育学研究指導	高木	悟
E31	数学科内容学研究指導	新井	仁之
E32	数学科内容学研究指導	梁	松
E33	数学科内容学研究指導	戸松	玲治
E41	数学科内容学研究指導	村井	聡
E51	数学科内容学研究指導	小森	洋平
E65	数学科内容学研究指導	高島	克幸
E70	数学科内容学研究指導	谷山	公規
E74	数学科内容学研究指導	山口	祥司

4. 出身大学コード

【国立大学】

0044 愛知教育大学
0012 秋田大学
0006 旭川医科大学
0015 茨城大学
0009 岩手大学
0017 宇都宮大学
0066 愛媛大学
0108 大分大学
0088 大分医科大学
0052 大阪外国語大学
0053 大阪教育大学
0051 大阪大学
0061 岡山大学
0004 小樽商科大学
0031 お茶の水女子大学
0005 帯広畜産大学
0093 香川医科大学
0105 香川大学
0077 鹿児島大学
0037 金沢大学
0096 鹿屋体育大学
0007 北見工業大学
0041 岐阜大学
0071 九州工業大学
0069 九州大学
0049 京都教育大学
0050 京都工芸繊維大学
0048 京都大学
0074 熊本大学
0018 群馬大学
0106 高知大学
0055 神戸商船大学
0054 神戸大学
0019 埼玉大学
0087 佐賀医科大学
0107 佐賀大学
0080 滋賀医科大学
0047 滋賀大学
0042 静岡大学
0083 島根医科大学
0104 島根大学
0089 上越教育大学
0040 信州大学
0100 政策研究大学院大学
0097 総合研究大学院大学
0020 千葉大学
0016 筑波大学
0111 筑波技術大学
0032 電気通信大学
0022 東京医科歯科大学
0102 東京海洋大学
0023 東京外国語大学
0024 東京学芸大学
0026 東京芸術大学
0027 東京教育大学
0028 東京工業大学

0029 東京商船大学
0030 東京水産大学
0021 東京大学
0025 東京農工大学
0010 東北大学
0064 徳島大学
0059 鳥取大学
0094 図書館情報大学
0082 富山医科薬科大学
0110 富山大学
0085 豊橋技術科学大学
0084 長岡技術科学大学
0045 名古屋工業大学
0043 名古屋大学
0073 長崎大学
0056 奈良教育大学
0099 奈良先端科学技術大学院大学
0057 奈良女子大学
0095 鳴門教育大学
0035 新潟大学
0079 浜松医科大学
0033 一橋大学
0092 兵庫教育大学
0008 弘前大学
0062 広島大学
0090 福井医科大学
0103 福井大学
0068 福岡教育大学
0014 福島大学
0098 北陸先端科学技術大学院大学
0002 北海道教育大学
0001 北海道大学
0046 三重大学
0011 宮城教育大学
0081 宮崎医科大学
0109 宮崎大学
0003 室蘭工業大学
0013 山形大学
0063 山口大学
0101 山梨大学
0034 横浜国立大学
0078 琉球大学
0058 和歌山大学
000E 海外・その他

【その他の大学・大学校】

0991 放送大学
9002 防衛大学校
9003 職業能力開発総合大学校
9004 防衛医科大学校

【公立大学】

1095 愛知県立大学
1053 愛知県立看護大学
1012 愛知県立芸術大学
1045 会津大学
1064 青森県立保健大学
1044 青森公立大学
1065 秋田県立大学
1102 秋田公立美術大学
1071 石川県立看護大学
1087 石川県立大学
1051 茨城県立医療大学
1060 岩手県立大学
1081 愛媛県立医療技術大学
1063 大分県立看護科学大学
1017 大阪女子大学
1018 大阪市立大学
1049 大阪府立看護大学
1083 大阪府立大学
1047 岡山県立大学
1068 沖縄県立看護大学
1036 沖縄県立芸術大学
1076 尾道市立大学（尾道大学）
1080 香川県立保健医療大学
1078 神奈川県立保健福祉大学
1006 金沢美術工芸大学
1028 北九州市立大学
1072 岐阜県立看護大学
1008 岐阜薬科大学
1029 九州歯科大学
1014 京都市立芸術大学
1016 京都府立医科大学
1015 京都府立大学
1038 釧路公立大学
1032 熊本県立大学
1086 群馬県立県民健康科学大学
1034 群馬県立女子大学
1067 県立長崎シーボルト大学
1025 県立広島女子大学
1027 高知県立大学（高知女子大学）
1096 高知工科大学
1084 県立広島大学
1020 神戸市外国語大学
1055 神戸市看護大学
1021 神戸商科大学
1109 公立小松大学
1101 公立鳥取環境大学（鳥取環境大学）
1069 公立はこだて未来大学
1079 国際教養大学
1066 埼玉県立大学
1001 札幌医科大学
1090 札幌市立大学
1091 産業技術大学院大学
1054 滋賀県立大学
1037 静岡県立大学
1009 静岡女子大学
1098 静岡文化芸術大学
1010 静岡薬科大学
1073 島根県立大学

1026 下関市立大学
 2266 周南公立大学
 1085 東京都立大学(首都大学東京)
 1075 情報科学芸術大学院大学
 1003 高崎経済大学
 1093 千葉県立保健医療大学
 1104 敦賀市立看護大学
 1007 都留文科大学
 1035 東京都立科学技術大学
 1061 東京都立保健科学大学
 1040 富山県立大学
 1105 長岡造形大学
 1108 長野大学
 1092 長崎県立大学
 1052 長野県看護大学
 1110 長野県立大学
 1013 名古屋市立大学
 1089 名寄市立大学
 1023 奈良県立医科大学
 1041 奈良県立大学
 1094 新潟県立大学
 1077 新潟県立看護大学
 1097 新見公立大学
 1022 姫路工業大学
 1046 兵庫県立看護大学
 1082 兵庫県立大学
 1039 広島県立大学
 1074 広島県立保健福祉大学
 1050 広島市立大学
 1042 福井県立大学
 1043 福岡県立大学
 1030 福岡女子大学
 1002 福島県立医科大学
 1106 福知山公立大学
 (成美大学・京都創成大学)
 1100 福山市立大学
 1057 前橋工科大学
 1058 三重県立看護大学
 1056 宮城大学
 1059 宮崎県立看護大学
 1048 宮崎公立大学
 1099 名桜大学
 1070 山形県立保健医療大学
 1103 山形県立米沢栄養大学
 1033 山口県立大学
 1107 山口東京理科大学
 1062 山梨県立看護大学
 1088 山梨県立大学
 1005 横浜市立大学
 1024 和歌山県立医科大学
 000E 海外・その他

【私立大学】

2436 愛国学園大学
 2166 愛知医科大学
 2167 愛知学院大学
 2169 愛知学泉大学
 2470 愛知工科大学
 2168 愛知工業大学
 2384 愛知産業大学
 2301 愛知淑徳大学
 2540 愛知新城大谷大学
 2165 愛知大学
 2491 愛知東邦大学(東邦学園大学)
 2438 愛知文教大学
 2390 愛知みずほ大学
 2012 青森大学
 2435 青森中央学院大学
 2051 青山学院大学
 2548 秋田看護福祉大学
 2162 朝日大学
 2001 旭川大学
 2141 麻布大学
 2052 亜細亜大学
 2030 足利大学(足利工業大学)
 2229 芦屋大学
 2034 跡見学園女子大学
 2640 育英大学
 2360 石巻専修大学
 2637 一宮研伸大学
 2028 茨城キリスト教大学
 2336 いわき明星大学
 2016 岩手医科大学
 2634 岩手保健医療大学
 2589 植草学園大学
 2053 上野学園大学
 2449 宇都宮共和大学(那須大学)
 2512 宇部フロンティア大学
 2517 浦和大学
 2561 映画専門大学院大学
 2598 SBI 大学院大学
 2368 江戸川大学
 2258 エリザベト音楽大学
 2570 L C A 大学院大学
 2027 奥羽大学
 2439 桜花学園大学
 2217 追手門学院大学
 2055 桜美林大学
 2553 大阪青山大学
 2202 大阪医科大学
 2216 大阪大谷大学(大谷女子大学)
 2203 大阪音楽大学
 2204 大阪学院大学
 2568 大阪河崎リハビリテーション大学
 2475 大阪観光大学(大阪明浄大学)
 2623 大阪行岡医療大学
 2205 大阪経済大学
 2206 大阪経済法科大学
 2207 大阪芸術大学
 2208 大阪工業大学
 2224 大阪国際女子大学

2355 大阪国際大学
 2209 大阪産業大学
 2210 大阪歯科大学
 2211 大阪樟蔭女子大学
 2212 大阪商業大学
 2542 大阪女学院大学
 2523 大阪成蹊大学
 2569 大阪総合保育大学
 2213 大阪体育大学
 2214 大阪電気通信大学
 2493 大阪人間科学大学
 2613 大阪物療大学
 2605 大阪保険医療大学
 2215 大阪薬科大学
 2623 大阪行岡医療大学
 2186 大谷大学
 2054 大妻女子大学
 2231 大手前大学
 2573 大原大学院大学
 2533 大宮法科大学院大学
 2627 岡崎女子大学
 2510 岡山学院大学
 2252 岡山商科大学
 2253 岡山理科大学
 2625 沖縄科学技術大学院大学
 2543 沖縄キリスト教学院大学
 2298 沖縄国際大学
 2297 沖縄大学
 2464 開智国際大学(日本橋学館大学)
 2487 嘉悦大学
 2437 学習院女子大学
 2056 学習院大学
 2295 鹿児島国際大学
 2406 鹿児島純心女子大学
 2325 活水女子大学
 2299 神奈川工科大学
 2142 神奈川大学
 2143 神奈川歯科大学
 2154 金沢医科大学
 2340 金沢学院大学
 2156 金沢工業大学
 2155 金沢星稜大学
 2145 鎌倉女子大学
 2618 亀田医療大学
 2254 川崎医科大学
 2379 川崎医療福祉大学
 2347 川村学園女子大学
 2338 神田外語大学
 2219 関西医科大学
 2524 関西医療大学(関西鍼灸大学)
 2220 関西外国語大学
 2232 関西学院大学
 2571 関西看護医療大学
 2441 関西国際大学
 2218 関西大学
 2429 関西福祉科学大学
 2430 関西福祉大学
 2582 環太平洋大学
 2144 関東学院大学

2305	関東学園大学	2185	皇學館大学	2398	静岡産業大学
2527	畿央大学	2233	甲子園大学	2538	静岡福祉大学
2057	北里大学	2431	高知工科大学	2468	静岡文化芸術大学
2372	吉備国際大学	2235	甲南女子大学	2376	静岡理工科大学
2567	岐阜医療科学大学	2234	甲南大学	2457	至誠館大学 (山口福祉文化大学・萩国際大学)
2161	岐阜経済大学	2476	神戸医療福祉大学 (近畿医療福祉大学)	2069	芝浦工業大学
2163	岐阜女子大学	2236	神戸海星女子学院大学	2031	自治医科大学
2164	岐阜聖徳学園大学	2237	神戸学院大学	2068	実践女子大学
2495	九州栄養福祉大学	2365	神戸芸術工科大学	2222	四天王寺大学 (四天王寺国際仏教大学)
2445	九州看護福祉大学	2247	神戸国際大学	2639	社会情報大学院大学 (社会構想大学院大学)
2273	九州共立大学	2579	神戸夙川学院大学	2319	就実大学
2286	九州国際大学	2238	神戸女学院大学	2592	修文大学
2274	九州産業大学	2239	神戸女子大学	2346	秀明大学
2443	九州情報大学	2594	神戸常盤大学	2419	十文字学園女子大学
2275	九州女子大学	2241	神戸松蔭女子学院大学	2043	淑徳大学
2289	九州東海大学	2558	神戸情報大学院大学	2193	種智院大学
2458	九州保健福祉大学	2242	神戸親和女子大学	2615	純真学園大学
2432	九州ルーテル学院大学	2555	神戸ファッション造形大学	2070	順天堂大学
2451	共愛学園前橋国際大学	2240	神戸薬科大学	2465	松蔭大学
2484	共栄大学	2456	神戸山手大学	2304	尚綱大学
2577	京都医療科学大学	2251	高野山大学	2515	尚綱学院大学
2187	京都外国語大学	2026	郡山女子大学	2381	城西国際大学
2188	京都学園大学	2064	国学院大学	2037	城西大学
2612	京都華頂大学	2409	国際医療福祉大学	2071	上智大学
2629	京都看護大学	2065	国際基督教大学	2631	湘南医療大学
2192	京都光華女子大学	2326	国際大学	2146	湘南工科大学
2189	京都産業大学	2421	国際仏教学大学院大学	2462	尚美学園大学
2547	京都情報大学院大学	2330	国際武道大学	2033	上武大学
2190	京都女子大学	2066	国士館大学	2537	情報セキュリティ大学院大学
2317	京都精華大学	2602	こども教育宝仙大学	2331	昭和音楽大学
2378	京都造形芸術大学	2388	駒沢女子大学	2073	昭和女子大学
2194	京都橘大学	2067	駒澤大学	2072	昭和大学
2197	京都ノートルダム女子大学	2036	埼玉医科大学	2074	昭和薬科大学
2622	京都美術工芸大学	2485	埼玉学園大学	2075	女子栄養大学
2424	京都文教大学	2306	埼玉工業大学	2076	女子美術大学
2191	京都薬科大学	2584	サイバー大学	2550	白梅学園大学
2058	共立女子大学	2492	嵯峨美術大学 (京都嵯峨芸術大学)	2077	白百合女子大学
2059	共立薬科大学	2147	相模女子大学	2490	仁愛大学
2060	杏林大学	2591	佐久大学	2078	杉野服飾大学
2588	桐生大学	2361	作新学院大学	2171	相山女学園大学
2221	近畿大学	2559	札幌大谷大学	2377	鈴鹿医療科学大学
2170	金城学院大学	2003	札幌学院大学	2399	鈴鹿大学 (鈴鹿国際大学)
2467	金城大学	2386	札幌国際大学	2337	駿河台大学
2061	国立音楽大学	2002	札幌大学	2504	諏訪東京理科大学
2291	熊本学園大学	2626	札幌保健医療大学	2391	成安造形大学
2528	熊本保健科学大学	2590	三育学院大学	2344	聖学院大学
2414	倉敷芸術科学大学	2314	産業医科大学	2357	聖カタリナ大学
2255	くらしき作陽大学	2315	産業能率大学	2079	成蹊大学
2308	久留米工業大学	2400	山陽学園大学	2529	星槎大学
2276	久留米大学	2318	志學館大学	2312	星槎道都大学 (道都大学)
2562	グロービス経営大学院大学	2174	至学館大学 (中京女子大学)	2080	成城大学
2499	群馬医療福祉大学	2620	事業構想大学院大学	2507	星城大学
2549	群馬パース大学	2566	事業創造大学院大学	2081	聖心女子大学
2044	敬愛大学	2616	滋慶医療科学大学 (滋慶医療科学大学院大学)	2518	清泉女学院大学
2062	慶應義塾大学	2271	四国学院大学	2082	清泉女子大学
2349	恵泉女学園大学	2269	四国大学	2520	聖泉大学
2375	敬和学園大学	2554	四條畷学園大学	2367	聖徳大学
2519	健康科学大学	2506	静岡英和学院大学	2230	聖トマス大学 (英知大学)
2063	工学院大学				

2277	西南学院大学	2545	デジタルハリウッド大学	2023	東北生活文化大学
2403	西南女学院大学	2248	帝塚山大学	2021	東北福祉大学
2452	西武文理大学	2225	帝塚山学院大学	2448	東北文化学園大学
2535	聖母大学	2502	田園調布学園大学	2607	東北文教大学
2572	聖マリア学院大学	2459	天使大学	2363	東洋英和女学院大学
2148	聖マリアンナ医科大学	2624	天理医療大学	2382	東洋学園大学
2383	聖隷クリストファー大学	2249	天理大学	2114	東洋大学
2083	聖路加国際大学 (聖路加看護大学)	2267	東亜大学	2280	東和大学
2243	聖和大学	2350	桐蔭横浜大学	2455	常磐会学園大学
2394	清和大学	2323	東海学院大学 (東海女子大学)	2328	常磐大学
2302	摂南大学	2412	東海学園大学	2270	徳島文理大学
2084	専修大学	2095	東海大学	2266	徳山大学
2149	洗足学園音楽大学	2603	東京有明医療大学	2320	常葉大学 (常葉学園大学)
2417	仙台白百合女子大学	2096	東京医科大学	2032	獨協医科大学
2018	仙台大学	2619	東京医療学院大学	2040	獨協大学
2525	千里金蘭大学	2551	東京医療保健大学	2494	鳥取環境大学
2223	相愛大学	2097	東京音楽大学	2633	鳥取看護大学
2085	創価大学	2098	東京家政大学	2434	苫小牧駒澤大学
2290	崇城大学	2099	東京家政学院大学	2370	富山国際大学
2530	創造学園大学	2366	東京基督教大学	2324	豊田工業大学
2244	園田学園女子大学	2100	東京経済大学	2423	豊橋創造大学
2296	第一工科大学 (第一工業大学)	2334	東京工科大学	2395	長岡造形大学
2279	第一薬科大学	2151	東京工芸大学	2488	長岡大学
2643	大学院大学至善館	2035	東京国際大学	2514	長崎ウエスレヤン大学
2086	大正大学	2101	東京歯科大学	2497	長崎外国語大学
2440	太成学院大学	2102	東京慈恵会医科大学	2479	長崎国際大学
2087	大東文化大学	2422	東京純心大学 (東京純心女子大学)	2404	長崎純心大学
2172	大同大学 (大同工業大学)	2348	東京情報大学	2288	長崎総合科学大学
2364	高岡法科大学	2500	東京女学館大学	2159	長野大学
2482	高崎健康福祉大学	2103	東京女子大学	2632	長野保健医療大学
2483	高崎商科大学	2104	東京女子医科大学	2521	長浜バイオ大学
2088	高千穂大学	2105	東京女子体育大学	2281	中村学園大学
2426	高松大学	2106	東京神学大学	2307	名古屋音楽大学
2614	宝塚医療大学	2552	東京聖栄大学	2353	名古屋外国語大学
2341	宝塚大学 (宝塚造形芸術大学)	2387	東京成徳大学	2177	名古屋学院大学
2089	拓殖大学	2107	東京造形大学	2508	名古屋学芸大学
2090	玉川大学	2641	東京通信大学	2316	名古屋経済大学
2362	多摩大学	2108	東京電機大学	2178	名古屋芸術大学
2091	多摩美術大学	2129	東京都市大学 (武蔵工業大学)	2471	名古屋産業大学
2358	筑紫女学園大学	2109	東京農業大学	2179	名古屋商科大学
2433	千歳科学技術大学	2461	東京福祉大学	2180	名古屋女子大学
2534	千葉科学大学	2501	東京富士大学	2371	名古屋造形大学 (名古屋造形芸術大学)
2345	千葉経済大学	2575	東京未来大学	2454	名古屋文理大学
2045	千葉工業大学	2110	東京薬科大学	2332	奈良学園大学 (奈良産業大学)
2046	千葉商科大学	2111	東京理科大学	2250	奈良大学
2047	中央学院大学	2196	同志社女子大学	2182	南山大学
2092	中央大学	2195	同志社大学	2489	新潟医療福祉大学
2389	中京学院大学	2601	東都医療大学	2396	新潟経営大学
2173	中京大学	2039	東邦音楽大学	2410	新潟工科大学
2511	中国学園大学	2112	東邦大学	2397	新潟国際情報大学
2428	中部学院大学	2113	桐朋学園大学	2351	新潟産業大学
2175	中部大学	2453	桐朋学園大学院大学	2642	新潟食料農業大学
2418	筑波学院大学	2176	同朋大学	2466	新潟青陵大学
2392	つくば国際大学	2022	東北医科薬科大学 (東北薬科大学)	2310	新潟薬科大学
2093	津田塾大学	2019	東北学院大学	2586	新潟リハビリテーション大学
2150	鶴見大学	2380	東北芸術工科大学	2287	西九州大学
2369	帝京科学大学	2481	東北公益文科大学	2282	西日本工業大学
2094	帝京大学	2020	東北工業大学	2115	二松学舎大学
2339	帝京平成大学	2013	東北女子大学	2117	日本医科大学

2574	日本医療科学大学	2442	広島国際大学	2411	身延山大学
2628	日本医療大学	2261	広島修道大学	2257	美作大学
2617	日本ウェルネススポーツ大学	2262	広島女学院大学	2024	宮城学院女子大学
2611	日本映画大学	2606	広島都市学園大学	2405	宮崎国際大学
2563	日本教育大学院大学	2415	広島文化学園大学(呉大学)	2343	宮崎産業経営大学
2278	日本経済大学 (第一経済大学・福岡経済大学)	2264	広島文教女子大学	2246	武庫川女子大学
2041	日本工業大学	2604	びわこ学院大学	2128	武蔵大学
2118	日本歯科大学	2522	びわこ成蹊スポーツ大学	2130	武蔵野音楽大学
2119	日本社会事業大学	2425	プール学院大学	2532	武蔵野学院大学
2120	日本獣医生命科学大学(日本獣医畜産大学)	2152	フェリス女学院大学	2131	武蔵野大学
2122	日本女子体育大学	2635	福井医療大学	2132	武蔵野美術大学
2121	日本女子大学	2157	福井工業大学	2407	名桜大学
2600	日本赤十字秋田看護大学	2513	福岡医療福祉大学(第一福祉大学)	2038	明海大学
2335	日本赤十字看護大学	2638	福岡看護大学	2134	明治学院大学
2496	日本赤十字九州国際看護大学	2284	福岡工業大学	2329	明治国際医療大学(明治鍼灸大学)
2541	日本赤十字豊田看護大学	2444	福岡国際大学	2133	明治大学
2477	日本赤十字広島看護大学	2285	福岡歯科大学	2135	明治薬科大学
2446	日本赤十字北海道看護大学	2595	福岡女学院看護大学	2184	名城大学
2123	日本体育大学	2373	福岡女学院大学	2393	目白大学
2116	日本大学	2283	福岡大学	2136	明星大学
2585	日本伝統医療科学大学院大学	2516	福島学院大学	2486	ものづくり大学
2183	日本福祉大学	2303	福山大学	2644	桃山学院教育大学
2313	日本文化大学	2402	福山平成大学	2228	桃山学院大学
2292	日本文理大学	2017	富士大学	2322	盛岡大学
2608	日本保健医療大学	2006	藤女子大学	2578	森ノ宮医療大学
2531	日本薬科大学	2181	藤田保健衛生大学	2536	八洲学園大学
2472	人間環境大学	2469	富士常葉大学	2265	安田女子大学
2463	人間総合科学大学	2199	佛教大学	2583	山口学芸大学
2025	ノースアジア大学 (秋田経済大学・秋田経済法科大学)	2125	文化学園大学(文化女子大学)	2416	山口東京理科大学
2256	ノートルダム清心女子大学	2564	文化ファッション大学院大学	2609	ヤマザキ学園大学
2226	梅花女子大学	2374	文京学院大学	2630	大和大学
2268	梅光学院大学	2042	文教大学	2503	山梨英和大学
2333	白鷗大学	2450	文星芸術大学	2158	山梨学院大学
2004	函館大学	2473	平安女学院大学	2153	横浜商科大学
2509	羽衣国際大学	2498	平成音楽大学	2621	横浜創英大学
2014	八戸工業大学	2420	平成国際大学	2610	横浜美術大学
2321	八戸学院大学(八戸大学)	2293	別府大学	2565	横浜薬科大学
2198	花園大学	2126	法政大学	2354	四日市大学
2539	浜松学院大学	2427	北翔大学(北海道浅井学園大学)	2576	四日市看護医療大学
2352	浜松大学	2007	北星学園大学	2011	酪農学園大学
2597	ハリウッド大学院大学	2593	北陸学院大学	2137	立教大学
2227	阪南大学	2300	北陸大学	2478	立志館大学
2526	東大阪大学	2596	保険医療経営大学	2138	立正大学
2408	東日本国際大学	2127	星薬科大学	2480	立命館アジア太平洋大学
2557	光産業創成大学院大学	2008	北海学園大学	2200	立命館大学
2556	ビジネス・ブレークスルー大学 (ビジネス・ブレークスルー大学院大学)	2309	北海商科大学(北海学園北見大学)	2201	龍谷大学
2401	比治山大学	2005	北海道医療大学	2356	流通科学大学
2581	姫路大学(近大姫路大学)	2009	北海道科学大学(北海道工業大学)	2029	流通経済大学
2342	姫路獨協大学	2359	北海道情報大学	2560	了徳寺大学
2245	兵庫医科大学	2636	北海道千歳リハビリテーション大学	2124	ルーテル学院大学
2580	兵庫医療大学	2311	北海道東海大学	2049	麗澤大学
2413	兵庫大学	2447	北海道文教大学	2544	LEC 東京リーガルマインド [®] 大学院大学 (LEC 東京リーガルマインド [®] 大学)
2599	弘前医療福祉大学	2010	北海道薬科大学	2139	和光大学
2015	弘前学院大学	2160	松本歯科大学	2140	早稲田大学
2259	広島経済大学	2505	松本大学	2460	稚内北星学園大学(育英館大学)
2260	広島工業大学	2385	松山東雲女子大学	2050	和洋女子大学
2263	広島国際学院大学	2272	松山大学	000E	海外・その他
		2327	三重中京大学		
		2294	南九州大学		

「大学院博士後期課程研究者養成奨学金制度」

早稲田大学は、2009 年度入学者より大学院博士後期課程において優秀な研究者を養成することを目的として、「大学院博士後期課程研究者養成奨学金制度」を設立しました。

奨学金に関する詳細情報は以下、早稲田大学奨学課ホームページをご覧ください。

<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>

給付対象：次のいずれにも該当する方

1. 大学院博士後期課程の正規課程に在籍し、標準修業年限内の者で当奨学金に出願する者（休学者を除く）
2. 奨学金を受ける年度の 4 月 1 日現在で修士学位もしくは専門職学位取得後 8 年以内、あるいは学部卒業後 10 年以内の者
3. 学生本人の前年収入が 442 万円以下の者
4. 国費留学生・早稲田大学助手等、授業料の全額免除またはそれに準ずる制度の適用を受ける者を除く

2023 年度奨学金額（ご参考）：年額（単年度給付）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ・教育基礎学専攻 | 250,000～400,000 円程度 |
| ・教科教育学専攻（数学科内容学を除く） | 250,000～400,000 円程度 |
| ・教科教育学専攻（数学科内容学） | 400,000～600,000 円程度 |